

本庁執務室レイアウト改修工事（2期）

図面番号	図面名称
A - 01	特記仕様書（1）
A - 02	特記仕様書（2）
A - 03	特記仕様書（3）
A - 04	特記仕様書（4）
A - 05	配置図・案内図（市民窓口館）
A - 06	市民窓口館 2階平面図（改修前）
A - 07	市民窓口館 2階平面図（改修後）
A - 08	部屋別2階平面図（会計課、税務課、収納課）（改修前）
A - 09	部屋別2階平面図（会計課、税務課、収納課）（改修後）
A - 10	市民窓口館 3階平面図（全体）（改修前）
A - 11	市民窓口館 3階平面図（全体）（改修後）
A - 12	部屋別3階平面図（市民活動支援課）（改修前）
A - 13	部屋別3階平面図（市民活動支援課）（改修後）
A - 14	部屋別3階平面図（ふえふき教育相談室、生涯学習課）（改修前）

図面番号	図面名称
A - 15	部屋別3階平面図（ふえふき教育相談室、生涯学習課）（改修後）
A - 16	部屋別3階平面図（文化財課、学校教育課）（改修前）
A - 17	部屋別3階平面図（文化財課、学校教育課）（改修後）
A - 18	部屋別3階平面図（教育総務課、教育長）（改修前）
A - 19	部屋別3階平面図（教育総務課、教育長）（改修後）
A - 20	市民窓口館 4階平面図（全体）（改修前）
A - 21	市民窓口館 4階平面図（全体）（改修後）
A - 22	部屋別4階平面図（下水道課）（改修前）
A - 23	部屋別4階平面図（下水道課）（改修後）
A - 24	部屋別4階平面図（生活支援課）（改修前）
A - 25	部屋別4階平面図（生活支援課）（改修後）
A - 26	部屋別4階平面図（上下水道料金センター、企業総務課、水道課）（改修前）
A - 27	部屋別4階平面図（上下水道料金センター、企業総務課、水道課）（改修後）
E - 01	電気設備平面図（生活支援課）

2025年 4月
笛吹市

本庁執務室レイアウト改修工事（2期）

設計図

令和7年 4月

仕様書

I 工事概要

1. 工事場所

山梨県富牧市石和町市部809-1

2. 工事種目

・新築 ・増築 ・改築 ☒改修 ・その他（ ）等

富牧市役所市民窓口館（S45年竣工） 和造 4階建て 建築面積：1321.45㎡、延床面積：3844.64㎡

1. 内装改修

2. 家具等撤去工事

3. 電気設備改修工事

4. その他

5. 工事範囲

※「3. 工事種目」全てを工事範囲とする。
・「3. 工事種目」のうち各工事項目における工事範囲は下記表のとおりとする。
ただし、他の工事種目は全て、今回工事範囲とする。

II 建築改修工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官庁官庁業務部監修 公共建築工事標準仕様書（最新版）及び同標準詳細図による。
また、改修工事に関しては国土交通省大臣官庁官庁業務部監修 公共建築改修工事標準仕様書（最新版）による。
工事関係提出書類等については「工事関係提出書類一覧表」（営業課ホームページ掲載）を熟読し漏れの無いよう提出すること。（以下の内容にはこの資料と重複する項目があるが特に留意すべき事項として記載されている。）

2. 特記仕様

（1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

（2）特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。

（3）特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、改修仕様の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（4）特記事項に記載の（ ）内表示番号は、欄仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（5）特記事項に記載の（※・－）は（5.3.7）による別図「各部配筋」の当該項目を示す。

（6）☐印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」（以下「グリーン購入法」という）の特定調達品目を示す。

章

1 一般共通事項

項目

① 適用基準等

② 工事実績情報の登録（CORINS）

③ 品質計画等

④ 電気保安技術者

⑤ 条件明示項目

⑥ 発生材の処理等

⑦ 建築材料等

⑧ 化学物質を放散する建築材料等

⑨ 特別な材料の工法

⑩ 技能士

特記事項

○建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官庁官庁業務部監修 最新版）
○建築工事写真撮影要領（国土交通省大臣官庁官庁業務部監修 最新版）
・
※適用する
〔1.1.4〕
○建築基準法に基づき定められる区分等の適用工事
※風速（V₀= 30 ）
※地表面粗度区分（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）
○積雪区分 H12建告第1455号 別表（ ）
○総合施工図書、工種別施工図書
施工に先立ち作成し、監理者、監督員の承認を受ける。
〔1.3.3〕
工事現場における電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。
○要 ・不要
〔1.3.5〕
・現場説明書による
※工事車両は指定場所以外に駐停車しない
※現場説明書による ○隣外搬出適切処理
〔1.3.8〕
本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の（1）～（6）の項目を満たすものとする。
（1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること
（2）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること
（3）安定的な供給が可能であること
（4）法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること
（5）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること
（6）販売、保守等の営業体制が整えられていること
なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（社）公共建設協会 他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承認を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承認を受けた場合はこの限りでない。
また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承認を受ける。
メーカー・建材・製品・電気及び機械設備機器類の施工については、當協協工事共通仕様書によるほか、メーカー仕様に基づき責任施工とし、メーカー立会いのもと施工状況を確認し、完成を監理者に提出する事。完成届け受理後、監理者は検査を行うが、メーカー・建材・製品・機器類の瑕疵については、監理者は責任を負わない事とする。
本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の（1）から（5）を満たすものとする。
1）合板、木質系フローリング、構造用合板、集成材、単板層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ウリア樹脂板、仕上げ意材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
2）保温材、断熱材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
3）接着剤はフタル酸ジブチル及びフタル酸ジエーニールエーキシルを含有しない難燃発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
4）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
5）1）、3）及び4）の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。
規制対象外
①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品
②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品
③下記表示のあるJAS規格品
a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用
b. 接着剤等不使用
c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用
d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用
f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
第三種
①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品
②建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品
③旧JISのE₀規格品
④旧JASのF₀規格品
改修標及び、欄仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
〔1.6.2〕
技能士の活用を積極的に図ること。施工計画書に技能士の指名、資格証明を添付すること。
〔1.6.2〕
適用工事種別

技能検定の職種

防水工事

・アスファルト防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニール系シート・建築防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 防水工事作業

・左官 ・建築板金

外装改修工事

・左官 ・タイル張り ・塗装（建築塗装作業） ・樹脂接着材注入施工

建築改修工事

○サッシ施工 ・ガラス施工 ・自動ドア施工

内装改修工事

○プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業

○内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業） ○直装（壁装作業） ・左官

○建築大工 ・タイル張り

塗装改修工事

○塗装（建築塗装作業）

耐震改修工事

・鉄筋施工 ・型枠施工 ・とび

ブロック、ALC工事

・ブロック建築 ・ALCパネル施工

石工事

・石材施工（石張り施工）

補綴工事

・造園

仮設工事

・とび作業

鉄筋工事

・鉄筋組立作業

コンクリート工事

・型枠施工 ・コンクリート圧入工事作業

鉄骨工事

・構造物鉄工事作業 ・とび作業

屋根及びとい工事

・内外装板金作業 ・スレート工事作業

金属工事

・鋼製下地工事作業 ・内外装板金作業

左官工事

・左官作業

塗装工事

・建築塗装作業

11 化学物質の濃度測定

〔1.6.9〕

施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、報告すること。
測定はバツシブ型採取機器により行う。
測定対象箇所

1階 【体育館（4ヶ所）、トレーニング室（1ヶ所）、男子ロッカー室（2ヶ所）

多目的室（1ヶ所）、事務所（1ヶ所）、男子シャワー室（1ヶ所）]

測定箇所数

・図示 ・10箇所

報告の様式等については、現場説明書による。

※作成する ・作成しない

〔1.7.1～3〕（表1.7.1）

※完成図

提出部数

※各2部 ・3部

（A3縮小版 黒表紙金文字製本 及び 電子媒体（CD-R）

※施工計画書

提出部数

※1部 ○3部（発注者用・返却用・監理者確認用）

※施工図

提出部数

※1部 ○3部（発注者用・返却用・監理者確認用）

※発注に関する資料

提出部数

※2部 ・部（発注者保管用・施設管理者保管用）

13 完成写真

下記のものを監督職員に提出する。ただし、原稿は撮影業者の保管とする。

分類・規格

撮影箇所数

提出部数

原稿の大きさ（mm）

・カラー

※キャビネ板

外部（4）内部（適宜）

※2 ・1

※100×125以上

※べた焼

（他に外観正面1カットのみ5枚（カラーキャビネ版）提出）

・カラー半切木製パネル224×400（mm）

外部（ ）内部（ ）

※2

・電子データ（72dpi×144dpi）

外部（ ）内部（ ）

※2

※429万画素以上

※300dpi以上

100×125以上の原稿を使う場合は、監督職員にあらかじめべた焼を提出し確認を受ける。
電子データは、フィルムスキャンのうしろ面8ビット（フルカラー）、JPE形式最高画質（100%画質）とし、CD-Rにて提出とする。
撮影業者 ※監督職員の承認する建築写真専門業者とする。

設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。

③図示 ・設計GL＝現状GL

16 工事写真

・「當協電子納品要領（最新版）」による

2 仮設工事

1 足場その他

内部足場 種別

◎独立、足場板等

〔2.2.1〕

外部足場 種別

・枠組本足場 ・特種足場 ・移動式足場

〔2.2.1〕

防護シートによる養生

※行う ・行わない

材料、撤去材等の運搬

・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・E種

〔2.2.1〕〔表2.2.1〕

2 養生

既存部分の養生

◎ビニールシート等

〔2.3.1〕

既存家具等の養生

◎ビニールシート等

固定家具等の移動

・行わない ○行う（図示）

3 仮設間仕切

仮設間仕切り等の種別

〔2.3.2〕〔表2.3.1〕

種別

下地

仕上材（厚さ mm）

表てん材

塗装

・A種

※軽量鉄骨

・合板（※90・ ）

※無し

・B種

・木下地

※セッコウボード（※9.5・ ）

厚さ mm

・片面

※C種

単管下地

防火シート

・片面

仮設扉

※木製扉

※合板張り程度

※無し

・鋼製扉

※片面フラッシュ程度

・有り

4 監督職員事務所

・既存建物の一部を使用する ・構内に設置する ○設けない

〔2.4.1〕

・受注者事務所内に併設する（20㎡程度）

・規模及び仕上げの程度は監督員と協議による。設置する備品等も監督員と協議による。

5 工事用水

構内既存の施設

※利用できない ○利用できる ◎有償 ・無償

6 工事用電力

構内既存の施設

※利用できない ○利用できる ◎有償 ・無償

3 防水改修工事

1 アスファルト防水

〔3.3.2～3〕〔表3.1.1〕〔表3.3.3～10〕

防水改修工法の種類

施工箇所

新規防水層の種類

保

・P1B

・B-1 ※B-2

護

・P1B1 ・T1B1

・B1-1 ※B1-2

防

・P2A1

・A1-1 ※A1-2

水

・P2A

・A-1 ※A-2

露出

・M4C

・C-1 ※C-2

防水

・M3D ・P0D

・D-1 ※D-2

屋内

・P1E ・P2E

・E-1 ※E-2

防水

（保護層は図示による）

アスファルトの種類

※3種 ・4種

〔3.2.2〕〔3.3.2〕

保護コンクリートのコンクリート種類

※無防コンクリート

〔3.3.2〕

P0D工法の二重ドレン

※設けない ・設ける

〔3.2.5〕

M3D、P0D工法の脱気装置

※設けない ・設ける

〔3.3.3〕

既存露出防水層表面の仕上げ塗装（M4C工法の場合）

・除去する

〔3.2.6〕

断熱工法の断熱材

厚さ（mm）

※25 ・

〔3.3.2〕

ただし、特定フロンを含むもの。

立上り部の保護

・れんがの種類

※要ええれ部分は市販品のれんが又は、市販品のれんが形コンクリートブロックとする。

〔3.3.2〕

・乾式保護材の材料

※押出成形セメント板 厚さ15mm

・モルタル

※厚さ30mm

〔3.4.2～3〕〔表3.1.1〕〔表3.4.1～3〕

防水改修工法の種類

施工箇所

新規防水層の種類

厚さ（mm）

・M4AS工法

・AS-1 ・AS-2 ・AS-3

・M3AS工法

・AS-4 ・AS-5 ・AS-6

・POAS工法

・M3ASI工法

・ASI-1 ・ASI-2

・M4ASI工法

・POASI工法

脱気装置

※設けない ・設ける

4 外壁改修工事 共通事項

3 合成高分子系ルーフィングシート防水

〔3.5.2～3〕〔表3.1.1〕〔表3.5.1〕

防水改修工法の種類

施工箇所

新規防水層の種類

仕上り塗料等

使用分類

・POS工法

図示

・S-F1 ・S-M1

・カラー

※非歩行

・S4S工法

・S-F2 ・S-M2

・シルバー

・軽歩行

・S3S工法

・M4S工法

・S-M1 ・S-M2

脱気装置

・設ける ・設けない

〔3.5.3〕

目的地処理

PCコンクリートの場合（ ）

〔3.5.4〕

・ゴム製品等の品質確認等

東洋ゴム化工品（株）、ニッパ化工品（株）で製造された製品や材料を用いる場合には、契約時点で同社が製造するゴム製品等に対して受注者が指定した第三者（東洋ゴム化工品（株）、ニッパ化工品（株）と資本面・人等面で関係がない者）によって作成された品質を証明する書類を提出し、監督職員の確認を受けるものとする。
なお、必要な品質証明書は、以下の試験および検査において、製品に応じて必要な規格について取得するものとする。
・ゴム製品等の品質確認をした場合における耐衝撃試験の取得
第三者による品質証明書等を提出し監督職員の確認を得た場合であっても、後に製品不良等が判明した場合の受注者の瑕疵担保責任が免責されるものではない。

4 壁面防水

〔3.6.2～3〕〔表3.1.1〕〔表3.6.1〕

防水改修工法の種類

施工箇所

新規防水層の種類

仕上り塗料等

・POX工法

・X-1

・シルバー

・L4X工法

壁木、内縁、屋上等

・X-2

・カラー

既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装（L4X工法の場合）

・除去する

〔3.2.6〕

脱気装置

※設けない ・設ける

〔3.6.3〕

〔3.3.3〕〔3.4.3〕〔3.5.3〕

種別

材質

設置数量

・平面部脱気型

・ポリエチレン樹脂

・ABS樹脂

メーカー仕様による

・立上り部脱気型

・合成ゴム

・塩化ビニル樹脂

（ ）

・ステンレス

・鋼

㎡当たり1箇所

6 シーリング

シーリング改修工法の種類

〔3.1.4〕〔表3.1.2〕

・シーリング充てん工法

・シーリング再充てん工法

・拡張シーリング再充てん工法 ・ブリッジ工法

〔3.7.2〕〔表3.7.1〕

シーリング材の種類、施工箇所

※下表以外は、改修仕様3.7.1を標準とする

施工箇所

シーリング材の種類（記号）

RC外壁打継ぎ目地、窓取り合い部

ポリウレタン系（PU-2）20×10

窓取り合い部

ポリウレタン系（PU-2）15×10

ALC板間、コーナー部

ポリウレタン系（PU-2）10×10

サッシ廻り、金属廻り

変成シリコン系（MS-2）15×10

ライニング、甲板、キッチン廻り、屋根取合部

変成シリコン系（MS-2）10×10

7 とい

といの材質

〔3.8.2〕〔表3.8.1〕

※配管用鋼管 ・硬質塩化ビニル管 ・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管（REP-VU）

〔3.8.3〕〔表3.8.5〕

鋼管製といの防露

〔3.8.3〕〔表3.8.5〕

・次の箇所は行わない（ ）

ロックウール保温層及びフェノールフォーム保温層のホルムアルデヒドの放散量

※規制対象外 ・第三種

掃出口

※有り ・無し

〔3.8.3〕

縦どけ受け金具の取付け

※図示 ・横仕13.5.3（d）（2）による

8 アルミニウム製笠木

〔3.9.2～3〕〔表3.9.1〕

種別

呼び厚（mm）

表面処理

固定間隔

備考

・250形

1.6以上

※A-1又はB-1種

固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの

隅部及び突出部等

の役物は本体製造所の仕様による。

・300形

1.8以上

・B-2種

（ ）

・350形

2.0以上

・100形

・

板材折曲げ部の取付工法

・図示

〔3.9.3〕

9 折板

〔13.9.2～3〕（表13.2.1）

形式

※重ね形 ・はげ縁形 ・かん合形

形状（mm）

山高（160）

山ピッチ（ ）

板厚

・0.6 ・0.8

材料

・塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼等（CGLCCR-20-AZ150）

・カラーガルバリウム鋼板

軒先戸板

※有り ・無し

断熱材

※有り（種別：グラスウール 厚さ：100 mm）

・無し

耐火性能

・30分耐火 ・無し

4 外壁改修工事 共通事項

1 施工数量調査

〔1.5.2〕

調査範囲

※外壁改修範囲 ・図示の範囲

調査内容

ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び鉄筋の露出の有無を調査する。
モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を壁面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。
塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規塗料との適合性を確認する。
調査報告書の部数

※2部 ・

承 認 設 計 担 当

番 号

設計年月日

工事名称

本庁執務室レイアウト改修工事（2期）

図面名称

特記仕様書（1）

No.

A - 01

◎試験適合モデル

保水率 (%)	単位容積質量 (kg/l)	接着強さ (N/mm ²)		長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/mm ²)
		標準時	湿冷経り返し後		
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以下	4.0以上

○パッキン工法キシ樹脂

初期硬化性 (標準)	接着強さ (標準)	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率
2.0N/mm ² 以上	6.0N/mm ² 以上	50.0N/mm ² 以上	30.0N/mm ² 以上	3.0 (%)以下

a. 均質で有者と認められる異物の混入がないこと。
b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c. 常温・常温 (温度5℃～35℃、湿度15%～85%) において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保持した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

○可とう性エポキシ樹脂

性 能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性
引張強度	1.0N/mm ² 以上	1.0N/mm ² 以上	1.0N/mm ² 以上	最大引張耐力 1.0N/mm ² 以上
伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び 10%以上

比重 表示値±0.10
押出し性 60秒以下
スランプ 3mm以下
加熱減量 5%以下

a. 均質で有者と認められる異物の混入がないこと。
b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c. 常温・常温 (温度5℃～35℃、湿度45%～85%) において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保持した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・タイル部分接着養生工法用材料

接着強さ	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷水熱中線速し	熱劣化
強度 (N/mm ²)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上
湿蒸減率 (%)	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上

皮膚毒性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱劣化
引張強さ (N/mm ²)	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上
伸び (%)	30以上	30以上	30以上	20以上	20以上

耐化学安定性 容積と粘度に着しい変化がないこと
耐熱性 JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8Nもありで安定していること。

a. 外観は、均質で、有者と認められる異物の混入がないこと。
b. タイル、石材、下地等を侵さずものでないこと。
c. 「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しないこと。
d. 常温・常温 (温度20±15℃、湿度65±20%) において製造後6か月保持しても上記の品質性能に適合していること。
e. ずれば折損性があること。
f. 湿線経絡時の確認が容易なように色が明確であること。

○エポキシ樹脂モデル

接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ
1.0N/mm ² 以上	20.0N/mm ² 以上	10.0N/mm ² 以上

a. ことで等質である、かつ、硬化後の性状上好であること。
b. 均質で有者と認められる異物の混入がないこと。
c. 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しないこと。
d. 形状は常規で、だれが生じないこと。
e. 常温・常温 (温度20±15℃、湿度65±20%) において製造後6か月保持しても上記の品質性能に適合していること。

○ポリマーセメントモデル

ポリマーセメントモデルの種類

合成ゴム系、アクリル系、エチレンー樹脂系等

曲げ強さ (N/mm ²)	圧縮強さ (N/mm ²)	接着強さ (N/mm ²)		
		標準時	湿潤時	低湿時
6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上

表面状態 だれのけり量は5mm以内とし、ひび割れが発生していないこと。
透水性 裏面の濡れ、水漏れの付着がないこと。
均質で有者と認められる異物の混入がないこと。

・ポリマーセメントスラリー

広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (%)	引張接着性	曲げ性能	吸水性	耐久性 (劣化曲げ強さ)
3以上	3%以下	0.5N/mm ² 以上	5.0N/mm ² 以上	15%以下	5.0N/mm ² 以上

保水係数 0.35～0.55
結膜係数 0.50～1.00

・吸水性調整材

項目	全固形分 (%)	吸水性 (g)	接着強さ (N/mm ²)	界面破壊率 (%)
品質・性能	表示値±1%以内	30分℃以下	0.98以上	50%以下

均質で有者と認められる異物の混入がないこと

※樹脂注入工法 [4.1.4] [4.3.4-6]

注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備 考
※自動吸引圧工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※	

樹脂注入工法

・手動式工法キシ樹脂 0.2以上～0.3未満 ※ 50～100 ※40
・手動式工法エポキシ樹脂 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※40
・機械式工法キシ樹脂 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130
・機械式工法エポキシ樹脂 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130

注入材料 [4.2.2]

※建築補修用注入工法エポキシ樹脂 (JIS A 6024低粘度型又は中粘度型)

検査 (コア抜き) ※行わない [4.3.4]
・行う (採取り部の修繕方法)

○Jカットシール材充てん工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.3.5]

充てん材料	品質・規格等	備 考
○シーリング用材料	※1成分又は2成分分 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモデルタルの充てん ※行わない ・行う

○可とう性エポキシ樹脂

・シール工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.3.6]

・パッキン工法キシ樹脂
・可とう性エポキシ樹脂

②

欠損部改修工法

※完てん工法

・エポキシ樹脂モルタル

・ポリマーセメントモルタル

[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 3. 7]

4-2

外壁改修工事

モルタル塗り仕上げ外壁

1

既存モルタル塗りの撤去

・行う (※全面 ・図示の範囲)

②

ひび割れ部改修工法

・既存モルタル撤去工法 (範囲は図示 撤去部分の補修は、3. 欠損部改修工法による)

※樹脂注入工法

[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 5]

(※既存モルタル面 ・ 既存躯体コンクリート面)

注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備 考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0. 2以上～1. 0未満	※200～300	※	
樹脂注入工法				
・手廻式エポキシ樹脂注入工法	0. 2以上～0. 3未満	※ 50～100	※40 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0. 3以上～0. 5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0. 5以上～1. 0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料

[4. 2. 2]

※建築補修用注入エポキシ樹脂 (J I S A 6 0 2 4 低粘度型又は中粘度型)

検査 (コア抜取り) ※行わない

[4. 3. 4]

・行う (抜取り部の補修方法 :)

☒リカットシール材完てん工法

[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 3. 5]

充てん材料	品質・規格等	備 考
・シーリング用材料	※ 1 成分形又は 2 成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ・ 行う

☐可とう性エポキシ樹脂

☐シール工法

[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 7]

(※既存モルタル面 ・ 既存躯体コンクリート面)

・パテ状エポキシ樹脂

☐可とう性エポキシ樹脂

・既存塗り仕上げ材の撤去及び補修

[4. 4. 2] [4. 6. 3]

(※シール工法の範囲 ・)

③

欠損部改修工法

既存モルタル面の欠損部

[4. 1. 4] [4. 4. 8～9]

改修工法の種類	材 料	品質・規格等
<input type="radio"/> 充てん工法	ポリマーセメントモルタル	
・モルタル塗替え工法	改修標準仕 2. 2 (g) による	塗り厚25mmを超える場合の補強 ※行う ・行わない ・図示

既製目地材 ・適用する (形状 ※図示 ・)

[4. 2. 2]

4

浮き部改修工法

改修工法の種類

(モルタルを撤去しない場合)

アンカービンの本数
(本/m²)

注入口の箇所数
(箇所/m²)

充てん量

	一般部	指定部	一般部	指定部	注入量
・アンカービン設置部分 エポキシ樹脂注入工法	※16	※25			※25ml
・アンカービン設置全面 エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※25ml
・アンカービン設置全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ・ 50ml
・注入口付アンカービン設置部分 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml
・注入口付アンカービン設置全面 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・注入口付アンカービン設置全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50ml

アンカービン

[4. 2. 2]

材質 ※ステンレス S S 3 0 4、呼び径 4 mm の丸棒で金ネジ切り加工したもの

注入口付アンカービン

[4. 2. 2]

材質 ※ステンレス S S 3 0 4、呼び径 外径 6 mm

4-3

外壁改修工事

タイル張り仕上げ外壁

1

既存タイル張りの撤去

・外壁タイル張り全面 ・図示の範囲

撤去範囲 ※下地モルタルまで ・張付けモルタルまで ・タイルのみ

②

ひび割れ部改修工法

改修箇所 ※既存タイル張り面

・ 既存タイル撤去面 (・コンクリート面 ・モルタル面)

※樹脂注入工法

[4. 1. 4] [4. 3. 4] [4. 5. 5]

注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備 考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0. 2以上～1. 0未満	※200～300	※	
樹脂注入工法				
・手廻式エポキシ樹脂注入工法	0. 2以上～0. 3未満	※ 50～100	※40 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0. 3以上～0. 5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0. 5以上～1. 0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料

[4. 2. 2]

※建築補修用注入エポキシ樹脂 (J I S A 6 0 2 4 低粘度型又は中粘度型)

検査 (コア抜取り) ※行わない

[4. 3. 4]

・行う (抜取り部の補修方法 :)

☒リカットシール材完てん工法 (既存タイル張り撤去面)

[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 3. 5～6]

充てん材料	品質・規格等	備 考
・シーリング用材料	※ 1 成分形又は 2 成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ・ 行う

・可とう性エポキシ樹脂

[illegible]

5

建具改修工事

①改修工法の適用

建具の種類

かみせ工法

掃き工法

備

考

・アルミニウム製建具

○鋼製建具

・外部

○内部

○

・鋼製軽量建具

・ステンレス製建具

2見本の製作等

・特殊な建具の取組（建具符号：）

[5. 1. 5]

3アルミニウム製建具

外部に面する建具

種 別

耐風圧性

気密性

水密性

特見込み (mm)

施工箇所

・A種

S－

※A－3

・W－5

※70

※図示

・B種

S－5

・A－4

・

・

・C種

S－

A－4

100

・

表面処理

[5. 2. 4] [表 5. 2. 2]

※B－1

・B－2（※ブラウン系・ブラック・ステンカラー）

屋内外建具

表面処理

※C－1種又はB－1

[5. 2. 4] [表 5. 2. 2]

・C－2種又はB－2種（※ブラウン系・ブラック・ステンカラー）

4網戸

防虫網

網の種類

※ガラス繊維入り合成樹脂製・合成樹脂製・ステンレス製（SUS316）

[5. 2. 3]

⑤鋼製建具

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による

[5. 3. 2] [表 5. 3. 1]

耐風圧性能の適用は建具表による

特定防火設備の戸・適用する

[5. 3. 4]

6鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による

[5. 4. 2]

7ステンレス製建具

簡易気密型ドアセットの適用は特記による

[5. 5. 2]

耐風圧性能の適用は建具表による

表面仕上げ

※H仕上げ・鏡面仕上げ

[5. 5. 4]

曲げ加工

※普通曲げ・角出し曲げ（補強有り）

[5. 5. 5]

特定防火設備の戸・適用する

8自動ドア開閉装置

※製造標準製作規定寸法許容差による

[5. 7. 2～3] [表 6. 7. 1～2]

開閉方法

センサの種類

※スライディングドア

・マットスイッチ

・電子マットスイッチ

・スイングドア

※光線スイッチ

・音波スイッチ

・B種

・熱線スイッチ

・光電スイッチ

・タッチスイッチ

・凍結防止措置（適用箇所は建具表による）

9自閉式上吊り引戸装置

品質規格

※改修標準5.8.3による

[5. 8. 3] [表 5. 8. 1]

・製造標準仕様による

10木製建具

かまち戸の取組

かまち（）

鏡板（）

[16. 6. 2]

ふすまの上張り

※羽子の子又はビニル板程度（押入等の裏面は除く）

[表 16. 6. 3]

・鳥の子

建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量

[16. 6. 2]

※規制対象外

・第三種

11建具用金物

マスターキー

・製作する

・製作しない

[5. 6. 4]

建具用金物

[5. 6. 2～3] [表 5. 6. 1～2]

錠類はシリンダー錠（レバーハンドル）とする

なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承認を受ける

吊金物

・丁番（内部建具については、軸を鉄芯としてもよい）

・ビボットヒンジ

・既存建具の建付け調整に伴い、消耗部材（戸車、丁番、クレセント）の交換を行う。

12ガラス

※建具表による

[5. 12. 2]

・ガラスブロック

改修標準5.12.5による

[5. 12. 5]

寸法 (mm)

色 調

パターン

防火認定

※クリア

・熱線反射

・乳白

・カラー（）

※無し

・有り

13ガラス窓の材及び溝ガラス窗の材

[5. 12. 2] [表 5. 12. 1]

建具の種類

材 種

アルミニウム製

※シーリング材・ガasket（F1X部はシーリング材）

鋼製及び鋼製軽量

※シーリング材

ステンレス製

※シーリング材

防火戸のガラス窗の材は建築基準法に基づき防火性能認定品とする。

板ガラスを求め込む溝の大きさ

[5. 12. 3]

改修標準5.12.3以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は（社）日本建築学会

JASS17ガラス工事「3.1納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監督職員に提出する。

14ガラス用フィルム

名 称

種 類

張り面

性能値

※ガラス飛散防止フィルム

第2種

※内張り・外張り

飛散防止率 D1

品質JISA5759による

15重量シャッター

[5. 9. 2] [表 5. 9. 1]

シャッターの種類

材 種

・一般重量シャッター

耐風圧性能（）N/m²

・外壁用防火シャッター

耐風圧性能（）N/m²

・屋内用防火シャッター

・

・屋内用防煙シャッター

・

開閉機構

※上部電動式（手動併用）

・上部手動式

危害防止機構

※障害物感知装置（自動開閉型）

[5. 9. 2]

・シャッターの二段降下方式

一般重量シャッターのシャッターケース

※設ける

・設けない

[5. 9. 2]

16軽量シャッター

開閉形式

[5. 10. 2] [表 5. 10. 1]

・手動式

・上部電動式（手動併用）

スラット

材質

※塗装溶融塗膜めっき鋼板

[5. 10. 3]

形状

※インターロック型

・オーバーラッピング形

[5. 10. 4]

ガイドレール等

※鋼板製

・ステンレス製SUS304（厚さ1.5mm）

[表 5. 10. 2]

耐風圧性能（）N/φ

内装改修工事	6	改修範囲	<p>既存壁の除去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲</p> <p>※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う</p> <p>・図示の範囲</p> <p>天井内の既存壁の除去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲</p> <p>※壁面より両側500mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う</p> <p>・図示の範囲</p> <p>天井の除去に伴う取合部の壁面の改修</p> <p>※既存のまま</p> <p>・図示の範囲</p> <p>○内装材除去については、下地・仕上げて除去となるため、解体工事と同等の方法を用いることができる。</p>	[6.1.3]																																													
	2	既存床の除去並びに下地補修	<p>ビニル床シート等の除去</p> <p>・仕上げ材のみ（接着剤とも）</p> <p>○下地モルタルとも（※図示の範囲・除去範囲全て）</p> <p>合成樹脂張り床材の除去工法</p> <p>○機械的除去工法</p> <p>・目荒工法</p> <p>改修後の床の清掃範囲</p> <p>※改修箇所の室内</p>	[6.2.2]																																													
	3	既存壁の除去並びに下地補修	<p>間仕切り壁除去に伴う他の構造物の補修</p> <p>※図示</p> <p>○モルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の補修</p> <p>※行方・行わない）</p>	[6.3.2] [4.4.9]																																													
	4	木下地等	<p>木材の品質</p> <p>※改修標準仕様表6.5.2による</p> <p>・市販品</p> <p>代用樹脂</p> <p>※改修標準表6.5.4による</p> <p>・代用樹脂を適用しない箇所（</p> <p>）</p> <p>保存処理木材を適用する箇所（</p> <p>）</p>	[6.5.2] [6.5.2～3] [6.5.2] [6.5.4]																																													
	5	集塵材等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>品 名</th><th>規格・品質</th><th>芯材の種類</th><th>化粧単板の種類</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※集塵材</td><td>※一部材</td><td>・たも</td><td>・なら</td></tr> <tr> <td>・構造用集成材</td><td>・1種</td><td>※2種</td><td>・3種</td></tr> <tr> <td>・造作用集成材</td><td>※1等</td><td>・2等</td><td></td></tr> <tr> <td>・化粧ばり造作用集成材</td><td>※1等</td><td>・2等</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>ホルムアルデヒドの放散量</p> <p>※規制対象外</p> <p>・第三種</p>	品 名	規格・品質	芯材の種類	化粧単板の種類	※集塵材	※一部材	・たも	・なら	・構造用集成材	・1種	※2種	・3種	・造作用集成材	※1等	・2等		・化粧ばり造作用集成材	※1等	・2等		[6.5.2]																									
品 名	規格・品質	芯材の種類	化粧単板の種類																																														
※集塵材	※一部材	・たも	・なら																																														
・構造用集成材	・1種	※2種	・3種																																														
・造作用集成材	※1等	・2等																																															
・化粧ばり造作用集成材	※1等	・2等																																															
6	接着剤	<p>接着剤に含まれる可塑剤は、難燃発火のものとする。</p> <p>※木工事に使用する接着剤</p> <p>ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防炎剤（以下、「ユリア樹脂等」という。）を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量</p> <p>※規制対象外</p> <p>・第三種</p> <p>※壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木に使用する接着剤壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量</p> <p>※規制対象外</p> <p>・第三種</p>	[6.5.2] [6.8.2] [6.14.2]																																														
7	防炎、防蟻処理	<p>行う箇所（</p> <p>）</p> <p>防蟻処理</p> <p>※行方（※図示</p> <p>・</p> <p>）</p> <p>防蟻処理</p> <p>・行方（※図示</p> <p>・</p> <p>）</p> <p>防炎、防蟻処理の種類、品質</p> <p>表面処理用木材保存（防炎・防蟻剤）型は監督職員の承認するものとする。</p>	[6.8.2] [6.14.2]																																														
8	床板張り	<p>フローリング及び縁甲板張り床</p> <p>[6.5.11]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>下張り用床板</th><th>・無し</th><th>※合板張り</th><th>ホルムアルデヒドの放散量</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・有り</td><td></td><td>・板張り</td><td>※規制対象外</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>床板</th><th>※単層フローリング（共仕19.5.2による）</th><th>ホルムアルデヒドの放散量</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・縁甲板</td><td></td><td>※規制対象外</td></tr> </tbody> </table>	下張り用床板	・無し	※合板張り	ホルムアルデヒドの放散量	・有り		・板張り	※規制対象外	床板	※単層フローリング（共仕19.5.2による）	ホルムアルデヒドの放散量	・縁甲板		※規制対象外	[6.5.2] [6.14.2]																																
下張り用床板	・無し	※合板張り	ホルムアルデヒドの放散量																																														
・有り		・板張り	※規制対象外																																														
床板	※単層フローリング（共仕19.5.2による）	ホルムアルデヒドの放散量																																															
・縁甲板		※規制対象外																																															
9	軽量鉄骨天井下地	<p>野縁等の種類</p> <p>屋外（・19型 ※25型） 屋内（※19型 ・25型）</p> <p>既存の埋込インサート</p> <p>・使用する</p> <p>・使用しない</p> <p>あと施工アンカーの引抜き試験</p> <p>・行方</p> <p>・行わない</p>	[6.6.2] [6.6.1] [6.6.3～4] [6.6.4]																																														
10	軽量鉄骨下地	<p>スタッドの高さが5mを超える場合</p> <p>※</p> <p>図示</p>	[6.7.3] [6.6.7.1]																																														
11	ビニル床シート張り	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th><th>J I S の記号</th><th>色 柄</th><th>厚さ (mm)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※発泡層のないもの</td><td>※FS</td><td>・無地</td><td>※2.5</td></tr> <tr> <td>・発泡層のあるもの</td><td></td><td>・マーブル柄</td><td>○2.0</td></tr> <tr> <td></td><td>※FS</td><td>・無地</td><td>・2.3</td></tr> </tbody> </table> <p>工法</p> <p>※熱溶接工法</p> <p>・突付け（施工箇所：</p> <p>）</p>	種 類	J I S の記号	色 柄	厚さ (mm)	※発泡層のないもの	※FS	・無地	※2.5	・発泡層のあるもの		・マーブル柄	○2.0		※FS	・無地	・2.3	[6.8.2]																														
種 類	J I S の記号	色 柄	厚さ (mm)																																														
※発泡層のないもの	※FS	・無地	※2.5																																														
・発泡層のあるもの		・マーブル柄	○2.0																																														
	※FS	・無地	・2.3																																														
12	ビニル床タイル張り	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th><th>J I S の記号</th><th>厚さ (mm)</th><th>備 考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※コンポジションビニル床タイル（半硬質）</td><td>KT</td><td>※2</td><td></td></tr> <tr> <td>・コンポジションビニル床タイル（軟質）</td><td>KT</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・ホモニアスビニル床タイル</td><td>FT</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	種 類	J I S の記号	厚さ (mm)	備 考	※コンポジションビニル床タイル（半硬質）	KT	※2		・コンポジションビニル床タイル（軟質）	KT			・ホモニアスビニル床タイル	FT			[6.8.2]																														
種 類	J I S の記号	厚さ (mm)	備 考																																														
※コンポジションビニル床タイル（半硬質）	KT	※2																																															
・コンポジションビニル床タイル（軟質）	KT																																																
・ホモニアスビニル床タイル	FT																																																
13	帯電防止床タイル張り	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th><th>厚さ (mm)</th><th>性 能</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・コンポジションビニル床タイル</td><td>※2</td><td>体積抵抗値（J I S K 6911による） 1.0×10⁹ Ω 以下、または、 漏れ電圧抵抗（J I S A 1454による） 1.0×10¹⁰ Ω 未満</td></tr> </tbody> </table>	種 類	厚さ (mm)	性 能	・コンポジションビニル床タイル	※2	体積抵抗値（J I S K 6911による） 1.0×10 ⁹ Ω 以下、または、 漏れ電圧抵抗（J I S A 1454による） 1.0×10 ¹⁰ Ω 未満	[6.8.2]																																								
種 類	厚さ (mm)	性 能																																															
・コンポジションビニル床タイル	※2	体積抵抗値（J I S K 6911による） 1.0×10 ⁹ Ω 以下、または、 漏れ電圧抵抗（J I S A 1454による） 1.0×10 ¹⁰ Ω 未満																																															
14	視覚障害者用床タイル（誘導用及び注意喚起用床材）	<p>ブロックパターンはJ I S T 9251による</p> <p>色相は黄色を原則とする</p> <p>屋 内</p> <p>※塩化ビニル製</p> <p>・磁器又はせっ器質タイル（※300</p> <p>・</p> <p>）</p> <p>・レジンコンクリート製</p> <p>屋 外</p> <p>※レジンコンクリート製</p> <p>○磁器又はせっ器質タイル（※300</p> <p>・</p> <p>）</p>	[6.8.2]																																														
15	ビニル幅木	<p>高さ (mm)</p> <p>・60</p> <p>・75</p> <p>・100</p>	[6.8.2]																																														
16	合成樹脂張り床	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th><th>仕上げの種類</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・弾性ウレタン張り床材</td><td>※平滑仕上げ</td></tr> <tr> <td>・エポキシ樹脂張り床材</td><td>※平滑仕上げ</td></tr> <tr> <td></td><td>・厚膜流し置べ仕上げ（※平滑</td></tr> <tr> <td></td><td>・樹脂モルタル仕上げ（※平滑</td></tr> <tr> <td></td><td>・防汚仕上げ</td></tr> </tbody> </table> <p>ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量</p> <p>※規制対象外</p> <p>・第三種</p>	種 別	仕上げの種類	・弾性ウレタン張り床材	※平滑仕上げ	・エポキシ樹脂張り床材	※平滑仕上げ		・厚膜流し置べ仕上げ（※平滑		・樹脂モルタル仕上げ（※平滑		・防汚仕上げ	[6.10.2～3] [6.10.1～7]																																		
種 別	仕上げの種類																																																
・弾性ウレタン張り床材	※平滑仕上げ																																																
・エポキシ樹脂張り床材	※平滑仕上げ																																																
	・厚膜流し置べ仕上げ（※平滑																																																
	・樹脂モルタル仕上げ（※平滑																																																
	・防汚仕上げ																																																
フロアリング張り	17	フロアリング張り	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th><th>材 種</th><th>工 法</th><th>仕上げ塗装等</th><th>備 考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※天然木化粧複合フローリング</td><td>※なら</td><td>※釘どめ工法（C種）</td><td>※塗装品</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>・ひのき</td><td></td><td>・無塗装品</td><td></td></tr> <tr> <td>・フローリングブロック</td><td>・なら</td><td>・接着工法</td><td>・無塗装品</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>ホルムアルデヒドの放散量</p> <p>※規制対象外</p> <p>・第三種</p> <p>[6.12.2～3] [6.12.1]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">下地の種類</th><th>畳の種類</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>改修標準仕</td><td>表6.5.9による床組</td><td>※B種</td></tr> <tr> <td>ポリスチレンフォーム床下地</td><td></td><td>※C種</td></tr> </tbody> </table> <p>畳表及び畳床は400の含有量が小さいものとする</p> <p>畳下地</p> <p>厚さ (mm)</p> <p>※40</p> <p>・65</p> <p>・80</p> <p>フローリング類</p> <p>厚さ (mm)</p> <p>※80</p> <p>・95</p> <p>・縫じゅうたん</p> <p>[6.9.2～3] [6.9.1]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th><th>バイル形状</th><th>帯電性</th><th>色柄 等</th><th>備 考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A種</td><td>・カットバイル</td><td>人体帯電圧</td><td>※無地</td><td></td></tr> <tr> <td>・B種</td><td>・ループバイル</td><td>※3kV以下</td><td>・柄物（標準品）</td><td></td></tr> <tr> <td>・C種</td><td>・カット、ループバイル併</td></tr></tbody></table>	種 別	材 種	工 法	仕上げ塗装等	備 考	※天然木化粧複合フローリング	※なら	※釘どめ工法（C種）	※塗装品			・ひのき		・無塗装品		・フローリングブロック	・なら	・接着工法	・無塗装品		下地の種類		畳の種類	改修標準仕	表6.5.9による床組	※B種	ポリスチレンフォーム床下地		※C種	種 別	バイル形状	帯電性	色柄 等	備 考	・A種	・カットバイル	人体帯電圧	※無地		・B種	・ループバイル	※3kV以下	・柄物（標準品）		・C種	・カット、ループバイル併
種 別	材 種	工 法	仕上げ塗装等	備 考																																													
※天然木化粧複合フローリング	※なら	※釘どめ工法（C種）	※塗装品																																														
	・ひのき		・無塗装品																																														
・フローリングブロック	・なら	・接着工法	・無塗装品																																														
下地の種類		畳の種類																																															
改修標準仕	表6.5.9による床組	※B種																																															
ポリスチレンフォーム床下地		※C種																																															
種 別	バイル形状	帯電性	色柄 等	備 考																																													
・A種	・カットバイル	人体帯電圧	※無地																																														
・B種	・ループバイル	※3kV以下	・柄物（標準品）																																														
・C種	・カット、ループバイル併																																																

7

材料

屋内の壁及び天井上げ材は、防火材料とする。
建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外 ・第三種

2

下地調整

[7.2.2~7] [表7.2.1~7]

下地の種類	下地調整の種類	備 考
木部	・ R A種 ※ R B種	
鉄鋼面（鋼製建具）	・ R A種 ※ R B種	
亜鉛めっき面	・ R A種 ※ R B種	
亜鉛めっき面	※ R B種 ・ R C種	
モルタル、プラスター面	・ R A種 ※ R B種	
コンクリート、ALCパネル面	・ R A種 ※ R B種	（2-U E）、（2-A S E）及び（2-F U E）は除く
せこうボード、その他ボード面	・ R A種 ※ R B種	

既存モルタル下地面等のひび割れ部の補修
※行わない ○行う（補修範囲及び補修方法は図示）

[表7.2.4~6]

3

合成樹脂調合ペイント塗り（SOP）

新規鉄面の塗りの種類 ・ A種 ※ B種 [7.4.4] [表7.4.2]
新規木部の塗りの種類 ・ A種（外部） ・ B種（内部）（塗り替え） [7.4.3] [表7.4.1]

4

クリヤラッカー塗り（CL）

新規木部の塗りの種類 ・ A種 ※ B種 [7.5.2] [表7.5.1]

5

フタル酸樹脂エナメル塗り（FE）

新規鉄面、亜鉛めっき面の塗りの種類 ・ A種 ※ B種 [7.6.2] [表7.6.1]
[7.6.3] [表7.6.2]

6

耐候性塗料塗り（DP）

[7.8.2~3] [表7.8.1~2]

下地の種類	種 別	上塗材の等級	備 考
鉄鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	
亜鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	

[7.8.4] [表7.8.3]

下地の種類	種 別	備 考
コンクリート及び押出成形セメント版面	・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種	

7

つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（EP-G）

新規の塗りの種類 ・ A種 ※ B種 ・ C種 [7.9.2~5] [表7.9.1~4]

8

合成樹脂エマルションペイント塗り（EP）

新規の塗りの種類 ・ A種 ※ B種 ・ C種 [7.10.2] [表7.10.1]

9

ウレタン樹脂ウニス塗り（UC）

新規の塗りの種類 ・ A種 ※ B種 [7.12.2] [表7.12.1]

10

ラッカーエナメル塗り（LE）

新規の塗りの種類 ・ A種 ※ B種 [7.13.2] [表7.13.1]

11

木材保護塗料塗り（WP）

新規の塗りの種類 ・ A種 ※ B種 [7.15.2] [表7.15.1]

12

ポリウレタン樹脂系エナメル塗り

下地の種類

下地調整

下塗り

中塗り・上塗り

備 考

既存鉄鋼面

R B種[表7.2.2]

JIS K 5551又はJASS18M-109

JIS K 5658又はJIS K 5659

既存V面

R C種[表7.2.2]

プライマー

JIS K 5658又はJIS K 5659

※塗装仕様については、塗料メーカーの仕様を原則とし、監督員と協議すること。

3

埋戻し及び盛土

種類 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 (3.2.3) (表3.2.1)
・建設汚泥から再生した処理土 ㊥

2

建設発生土の処理

※現場説明書による
・構外搬出適切処理 ・構内指示の場所にたい積 ・構内指示の場所に敷き均し (3.2.5)

4

既製コンクリート杭地業

(4.3.1~2)

種類	杭径 (mm)	杭長 (m) 及び種別	継手数	セット数	備考
試験杭					
本 杭					

杭頭の処理 ※切断しない ・ (4.3.8)
先端部形状 ※開放形 ・閉そく平たん形
杭の継手 建築基準法に基づく指定又は認定を受けた継手を使用してもよい。 (4.3.6)
施工法 ・特定埋込み杭工法 ・プレローリング拡大根固の工法 ・中掘拡大根固の工法 (4.3.4~5)
H13国交告1113号第6fによる支持力算定式でα=250程度を採用できる工法
杭周囲定液 ・使用する

セメントの種類 6章コンクリート工事のセメントの種類による

2

場所打ちコンクリート杭地業

(4.5.4) (表4.5.1)

コンクリートの種類及び設計基準強度
（ ）種かつ（ ）N/mm²以上
鉄筋の種類 5章鉄筋工事の鉄筋の種類による (4.5.4)
鋳削工法 ・アースドリル工法（ ・安定液使用 ・無水鋳削） (4.5.5)
・リバーシ工法
・オルケーシング工法（孔内の水圧 ・行う ・行わない）
・場所打ち鋼管コンクリート杭工法
・掘削杭工法（※安定液使用 ・ ）
側壁測定 ・行う（ ） ・行わない (4.5.4)
セメントの種類 6章コンクリート工事のセメントの種類による
※再生クラッシュラン ㊥ ・切込み砂利及び切込み砕石 (4.6.3)
施工箇所 ※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く） (4.6.5)

3

砂利地業

※再生クラッシュラン ㊥ ・切込み砂利及び切込み砕石 (4.6.3)

4

床下防湿層

施工箇所 ※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く） (4.6.5)

5

鉄筋工事

1

鉄筋の種類

(5.2.1) (表5.2.1)

種類の記号	呼び名 (mm)
・SD295A	※D16以下 ・
・SD345	※D19以上 ・

2

鉄筋の継手

呼び名19mm以上の柱、梁の主筋 ※ガス圧接 ・重ね継手 (5.3.4)

3

鉄筋の最小かぶり厚さ

最小かぶり厚さは目地底から算定する。
・耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。

施工箇所	標準値5.3.6の値に加える寸法 (mm)
・柱、梁、壁及び底などの外気に接する打放し面	※10

4

既製コンクリート杭の杭頭補強

・ A形 ・ B形 ※図示 (別2.1)

5

最上頭柱頭補強

※行う ・行わない (別2.1)

6

帯筋

※H形（口は除く） (別2.2)

7

壁開口部の補強

一般壁 ・ A形 ※ B形 ・ 図示 (別4.4) (別表4.3~4)
耐震壁 ※図示

8

貫賞通孔の補強形式

※H形 ・ M H形 ・ M形 (別7.1) (別表7.1~3)

9

機械吊上用フック

・ A種 ・ B種 ・ C種（ ケ所）

10

圧接完了後の試験

※超音波探傷試験 ・引張試験 (5.6.10)

6

コンクリート工事

1

普通コンクリートの設計基準強度

(6.2.2)

設計基準強度 F _c (N/mm ²)	施工箇所
・ 21	機械設備基礎、土間スラブ
・ 18	擁壁、捨てコンクリート

2

レディーミクストコンクリートの類別

※Ⅰ類 ・Ⅱ類 (6.2.1) (6.4.1~2) (表6.2.1)

3

スラブ

18cm (6.2.4)

4

セメントの種類

※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種
・高炉セメントB種 ㊥（ ） (6.3.1) (6.13.2) (表6.3.1)
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。

水和熱	7 d 352 J/g以下 28 d 402 J/g以下
-----	-------------------------------------

5

骨材の種類

アルカリシリカ反応による区分
※ A
・ B（※コンクリート中のアルカリ総量Rt=3.0kg/m³以下） (6.3.1)

6

混和材料

混和材 仕様箇所 屋外タタキ部分を除く全体：コンクリート躯体防水剤
躯体軸部：高性能AC減水材

7

無筋コンクリート

設計基準強度 ※18N/mm² (6.14.1)

8

コンクリート躯体表面の処理

外装タイル後張り面の躯体表面の処理
MOR工法を行う場合は、せき板面にMOR工法用気泡ポリエチレンシート張りとし、仕上がり面凹凸状態とする。高圧水洗工法の目荒しを行う場合は、水圧50N/mm²以上かつ、2.5分/m²以上とし、施工計画書を監督に提出し承諾を受ける。また、目荒しの状態は、事前に監督職員に承諾を受け
る。
コンクリートの増打ち厚さ ※20mm
※施工範囲は図示による。
適用及び適用箇所について
標仕19章内装工事9断熱材による。

9

断熱材適用型枠

21

排水工事

1

排水管

(21.2.3) (表21.2.2) (21.3.1~3.2)

排水管用材料	材 種	管の種類	管形状（接合方法）
・硬質ポリ塩化ビニル管	※VP ・ VU	※外圧管（※1種 ・ 2種）	B形（ゴム接合）
・排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管	・REP-VU ㊥		
・硬質ポリ塩化ビニル管	・DV		

車道部の排水管の数設 (21.3.~2)
※図示
・砂基礎（地業厚さ20cm以上 材料 山砂の類）

鋼鉄製マンホールふた (21.2.2)

種 類	適用荷重
・水封形 ・密閉形（テーパード・パッキン式）	・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用
・簡易気密形（パッキン式） ・中ふた付密閉形	

グレーチングふた (21.2.2)

材 質	形 式	種 類	適用荷重	メンバーピッチ	上面形状
・鋼製 ・ステンレス製	※受持付き	・溝ふた用 ・斜ふた用 ・かさ上げ用 ・U字溝用 ・図示	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	※細目 ※普通目 ・細目	※凹凸形 ※平形 ・凹凸形

※ B種 ・ (21.2.2~3) (表3.2.1)

製造所

2

排水樹及びふた

3

埋戻し土

（21.2.2~3）（表3.2.1）

4

浸透管及び浸透槽

22

舗装工事

1

盛り土に用いる材料

・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 (22.2.3) (表22.2.1)
・道断面 ※川砂、海砂又は良質な山砂 ・ (22.2.2~3)
厚さは図示
・凍上抑制層 ※再生クラッシュラン ・クラッシュラン 切り込み砂利 ・砂 (表22.2.1)
厚さは図示
・フィルター層 ※透水性舗装 車道部150mm・歩道部50mm

3

路床安定処理

※添加材料による安定処理 (22.2.2~3) (表22.2.2)
種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種
・生石灰（ ） ・消石灰（ ）
添加量 3 kg/m³（目標C B R ※5以上 ・ ）

4

路床土の支持力比試験

※行う（※乱した土 ・乱さない土） (22.2.5)

5

路床締固め度の試験

※行う (22.2.5)

6

路盤材料㊥

※再生クラッシュラン（RC-40）
・クラッシュラン（C-40）又はクラッシュランスラグ（CS-40）
透水性アスファルト舗装にもちいる場合は透水性の高いもの (22.3.3)

7

アスファルト舗装

(22.4.2) (表22.4.1)

舗装の種類	車道部の基層	カラー舗装の種類
※アスファルト舗装	※無し ・有り	※顔料混入加熱アスファルト混合物
・カラー舗装	※無し ・有り	

カラー舗装の着色骨材 ・着色骨材（焼成） ・着色骨材（樹脂被覆）
アスファルト ※再生アスファルト ㊥ ・ストリートアスファルト (22.4.3)

加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4) (表22.4.4)

区分	※一般地域	・寒冷地域
表層	※密粒度アスファルト混合物（13） ・細粒度アスファルト混合物（13）	※密粒度アスファルト混合物（13F） ・細粒度ギャップアスファルト混合物（13F）
基層	・粗粒度アスファルト混合物（20）	

シールコート ※行わない ・行う（施工範囲： ） (22.4.5)

アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.4.6)

早強セメント ※使用しない ・使用する (22.5.3)
注入材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ (22.5.3) (表22.5.2~3)

溶接金網 ※有り ・無し (22.5.3~4)
厚さ試験 ※行わない ・行う (22.5.6)

アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.7.4) (22.7.6)

8

コンクリート舗装

9

透水性アスファルト舗装

10

ブロック系舗装

(22.8.2~4)

種 類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材
※普通平板（N） ・カラー平板（C） ・洗出平板（W） ・凝石平板（S）	※300角	※60	※砂 ・モルタル

インターロッキングブロック舗装 (22.8.2~4)

種 類	厚さ (mm)	色彩及び表面加工等
※標準ブロック ・透水性ブロック ・誘導、注意喚起用ブロック ・植生ブロック	車道部 ※80 ・歩道部 ※60 ・ ※80 ・ 100	※標準品 誘導、注意喚起用は黄色系とする

インターロッキングブロック (22.8.2~4)

項 目	品 質 ・ 性 能
セメント	JIS R 5210ポルトランドセメント、JIS R 5211高炉セメント、JIS R 5212シリカセメント、JIS R 5213フライアッシュセメント、白色ポルトランドセメントとする。
骨材	清浄、強硬、耐久性で、適当な粒度をもち、ごみ、泥、有機物、薄い石片、細長の石片を含んでいない。
混和材料	インターロッキングブロックの品質に有害な影響を及ぼさない。
着色材料	無機質材料を用い、耐候性に優れ、かつインターロッキングブロックの品質及び環境に有害な影響を及ぼさない。

外観 (22.8.2~4)

寸法許容差 (mm)	長 さ	幅	厚 さ
普通タイプ	±3	±3	±3
透水性タイプ	±3	±3	+5~-1
植生用タイプ	±3	±3	±3

曲げ強度 (N/mm²) (22.8.2~4)

普通タイプ	5.0以上
透水性タイプ	3.0以上
植生用タイプ	4.0以上

透水係数 (cm/sec) (22.8.2~4)

普通タイプ	1×10 ⁻² 以上
透水性タイプ	32.0以上
圧縮強度 (N/mm ²) (22.8.2~4)	

普通タイプ	17.0以上
-------	--------

・凝石舗装 (22.8.2~4)

種 類	厚さ (mm)	施工方法	基 層
※小舗石（花こう岩）	※80~100 ・	※うろこ張り	※コンクリート舗装 ・アスファルト舗装

11

路面標示用塗料

JIS K 5665（路面標示用塗料）による

種類	施工	適用	色	幅 (mm)	布厚さ (mm)	揮発性有機溶剤の含有率
・1種㊥	常温	液状	※白	※150	※1.0	揮発性有機溶剤の含有率 塗料総質量に対して 5%以下
・1種㊥	加熱					
・3種1号	溶解	粉体状				

23

植栽工事

1

樹木の植栽基盤整備

(23.2.2~3) (表23.2.1~2)

通 用	有効土層の厚さ (cm)	工 法	整備範囲
※行う ・行わない	※20	※B種	※植栽範囲 ・図示

樹木 (23.2.2~3) (表23.2.1~2)

樹木の樹高 (m)	有効土層の厚さ (cm)	工 法	整備範囲
・12以上	※100 ・	※A種	・葉張りの範囲
・7超~12未満	※80 ・	・B種	ただし、低木は植栽範囲
・3超~7以下	※60 ・	・C種	・図示
・3以下	※50 ・	・D種	

工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。

※現場発生土の良質土 ・寄土（※細土 ・黒土） (23.2.3)

※適用する (23.2.3~4)

施工箇所 ※植栽範囲 ・図示

パークたい肥
有機物の含有量（乾物） : 70%以上
炭素窒素比（C/N比） : 35以下
陽イオン交換容量（乾物） : 70meq/100g以上
pH : 5.5~7.5
水分 : 55~65%
幼植物試験の結果 : 生育障害その他の異常を認めない
窒素含量（現物） : 0.5%以上
りん酸含量（現物） : 0.2%以下
加里含量（現物） : 0.1%以上
発酵下水汚泥コンポスト
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の調査の結果、害が認められないものとする
ひ素 : 0.005%以下
カドミウム : 0.0005%以下
水銀 : 0.0002%以下
ニッケル : 0.03%以下
クロム : 0.05%以下
鉛 : 0.01%以下
有機物の含有量（乾物） : 35%以上
炭素窒素比（C/N比） : 20以下
pH : 8.5以下
水分 : 50%以下
窒素含量（現物） : 0.8%以上
りん酸含量（現物） : 1.0%以上
アルカリ分（現物） : 15%以下
※杉の焼灰土（間伐材） ㊥ ・真竹 (23.3.2)

※幹巻き用テープ ・わら及びこも (23.3.2)

種類 ・こうりち芝 ・野芝 (23.4.2)

屋上緑化システム㊥ (23.5.2)

・管理方法による区分	・省管理型
質量の上限値) 2kg/m ²	
かん水装置 ・設ける（工事区分は図示）	
透水路、保水路及び排水層等 ・保水路及び排水層の鉛直方向の排水性能 ㉒40 l/m ² ・h以上	
耐荷重性能 省管理型 : 3×10 ⁴ N/m ² 以上の載荷重で異常のないこと。 (23.5.3)	
耐根層の材料 合成樹脂耐根シート（厚さ3mm以上）又は抗根性材料とする（耐根性能の実績を有すること）	
植込み用土 製造所の仕様による	
植栽の種類 製造所の指定するものとする	
・管理方法による区分 ・管理型	

2

植込み用土

3

土壤改良材 ㊥

4

支柱材

※杉の焼灰土（間伐材） ㊥ ・真竹 (23.3.2)

5

幹巻き用材料

※幹巻き用テープ ・わら及びこも (23.3.2)

6

芝張り

種類 ・こうりち芝 ・野芝 (23.4.2)

7

屋上緑化

(23.5.2)

屋上緑化システム㊥

・管理方法による区分	・省管理型
質量の上限値) 2kg/m ²	
かん水装置 ・設ける（工事区分は図示）	
透水路、保水路及び排水層等 ・保水路及び排水層の鉛直方向の排水性能 ㉒40 l/m ² ・h以上	
耐荷重性能 省管理型 : 3×10 ⁴ N/m ² 以上の載荷重で異常のないこと。 (23.5.3)	
耐根層の材料 合成樹脂耐根シート（厚さ3mm以上）又は抗根性材料とする（耐根性能の実績を有すること）	
植込み用土 製造所の仕様による	
植栽の種類 製造所の指定するものとする	
・管理方法による区分 ・管理型	

工事名称

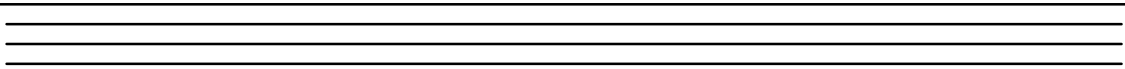
本庁執務室レイアウト改修工事（2期）

No.

A — 04

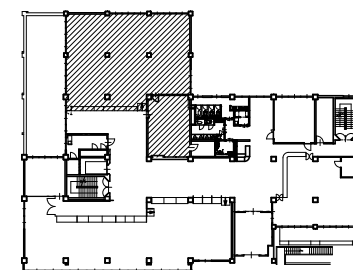
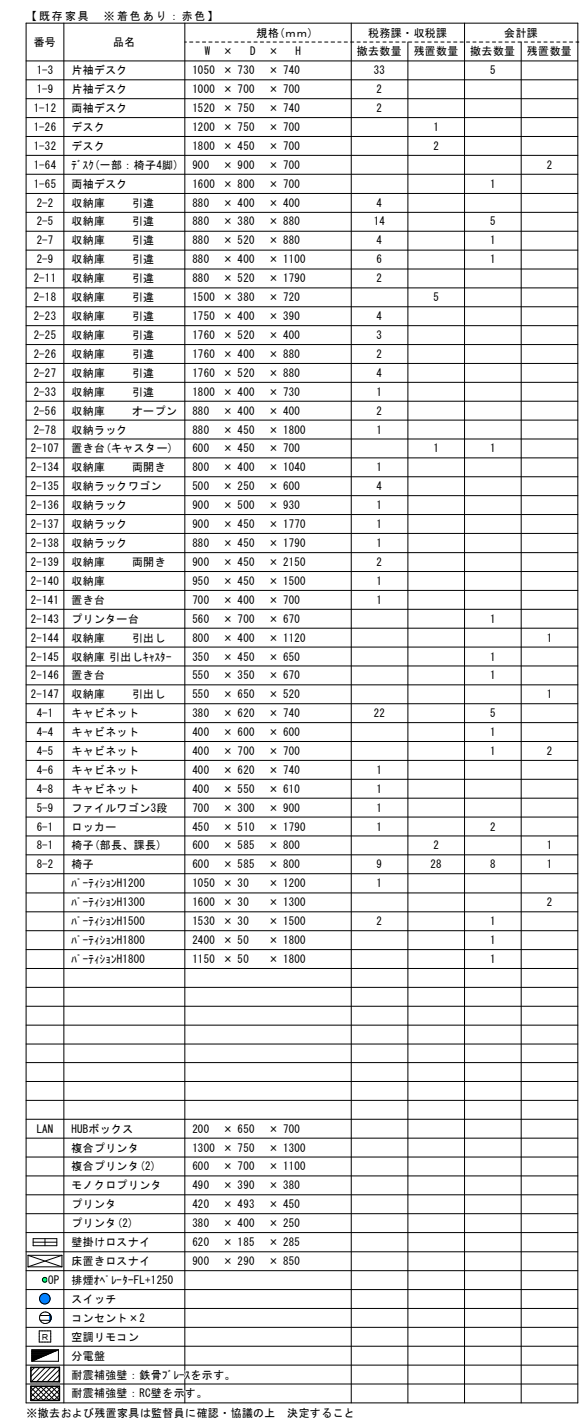
図面名称

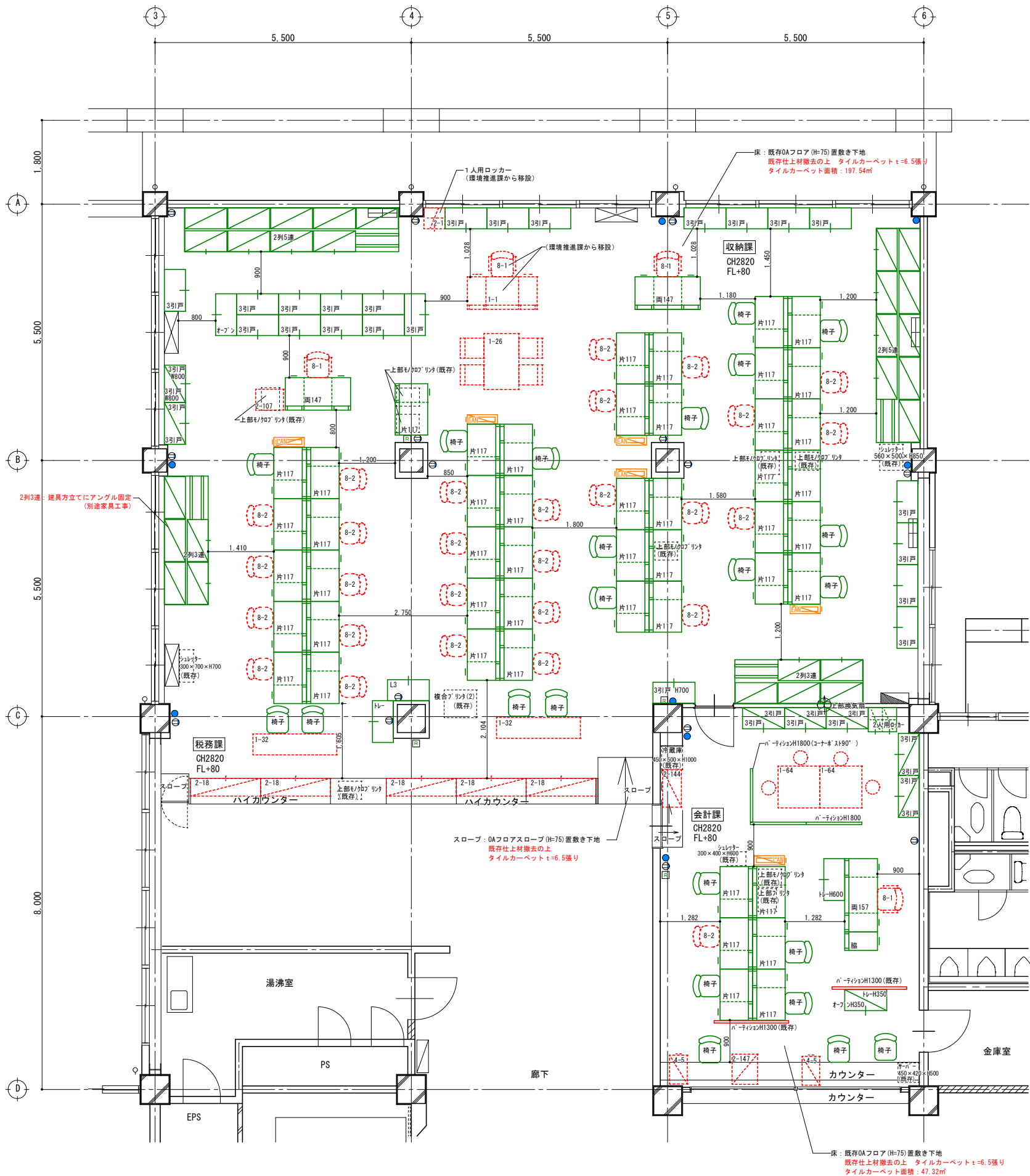
特記仕様書（4）



縮尺	(A1版) S=1:100 (A3版) S=1:200
設計年月日	

図面名称 市民窓口館 2階平面図(改修後)





【工事概要】

- ① 床、柱など養生を行う。
- ② 既存家具を撤去処分
一部既存家具は、一時保管場所へ移動の上 指定の場所へ設置
- ③ 既存備品類等は、一時保管場所へ移動の上 指定の場所へ設置
- ④ OAフロア内の電気配線改修工事を行う。
※既設リモコン・スイッチ・コンセントは新規家具設置により干渉する場合は移設・新設
- ⑤ タイルカーペットの強替工事(東リ GA1046同等品)
- ⑥ カウンターは既存のまま

【別途工事】

- ① 家具レイアウト変更による電話工事
- ② 家具レイアウト変更によるLANハブ移設・LAN配線工事
- ③ コピー機・プリンター移設・配線工事
- ④ 既存ファイル類等の段ボール詰、パソコン類の一時保管・再取り付け
- ⑤ 新規家具の設置工事
- ⑥ 壁、床コンセントから引き出された延長コード、タップの再取り付け

【新規家具 ※着色あり：緑色】(別途工事)

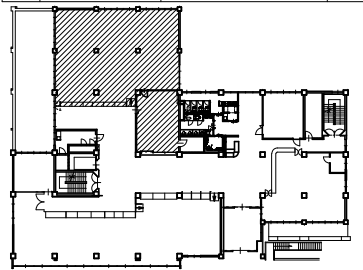
番号	品名	規格(mm)			数量	数量	参考(同等品)
		W	D	H			
間157	間抽デスク アンダーパネル	1500	700	720		1	233 SD-1SN157CAASPANN3 233 SDF-1SU15SAW
間147	間抽デスク アンダーパネル	1400	700	720	2		233 SD-1SN147CAASPANN3 233 SDF-1SU14SAW
片117	片抽デスク	1100	700	720	43	6	233 SD-1SN117LCAASPANN3
椅子	椅子(肘なし)	600	585	800	16	7	233 CR-G218F4HSM65-W
3引戸	収納3枚引違戸 下置き シングルベース 収納天板	900	450	1050	21		233 BWU-HD35SASANN 233 BWUB-S9SAW 233 BWUT-W9PANNW
3引戸 H700	収納3枚引違戸 下置き シングルベース 収納天板	900	450	702	1		233 BWU-HD33SASANN 233 BWUB-S9SAW 233 BWUT-W9PANNW
L3	収納3段 下置き シングルベース 収納天板	900	450	1050	1		233 BWU-L3A5SASANN 233 BWUB-S9SAW 233 BWUT-W9PANNW
トレ	収納A4深型コンビトレ シングルベース 収納天板	900	450	1050	1		233 BWU-PA35SASANN 233 BWUB-S9SAW 233 BWUT-W9PANNW
オープン	収納3段 下置き シングルベース 収納天板	900	450	1050	1		233 BWU-K3S9SAW 233 BWUB-S9SAW 233 BWUT-W9PANNW
3引戸	収納3枚引違戸 上置き 収納3枚引違戸 下置き シングルベース	900	450	1050	1	5	233 BWU-HU35SASANN 233 BWU-HD35SASANN 233 BWUB-S9SAW
3引戸 W800	収納3枚引違戸 上置き	800	450	1050	1		233 BWU-HU35SASANN
3引戸 W800	収納3枚引違戸 下置き シングルベース	800	450	1050	1		233 BWU-HD35SASANN 233 BWUB-S9SAW
2人用ロッカー	ロッカー	608	515	1790		1	233 LK-N2SAW
2列3連	スライド収納 2列3連 開閉き扉	2760	940	2265	2		233 SMU-S89SANN3+1・CS89SANN3+1
2列5連	スライド収納 2列5連 開閉き扉	4600	940	2265	2		233 SMU-S89SANN3+1・CS89SANN3+3
	パナソニックH1800	1200	54	1835		2	233 PP-FXW1218SANN
	パナソニックH1800(コナギス90°)	1100	54	1835		1	233 PP-FXW1118SANN・PPS-FXWP18N
脇	脇デスク	400	700	720		1	233 SD-1SN47CAASPANNW
トレH350	収納A4深型トレ 上置き	900	450	350		1	233 BWU-PA20SASANN
オープンH350	収納(上置き用を下置き) シングルベース	900	450	350			233 BWU-K09SAW 233 BWUB-S9SAW
オープンH600	収納2段 下置き シングルベース	900	450	600		1	233 BWU-K29SAW 233 BWUB-S9SAW

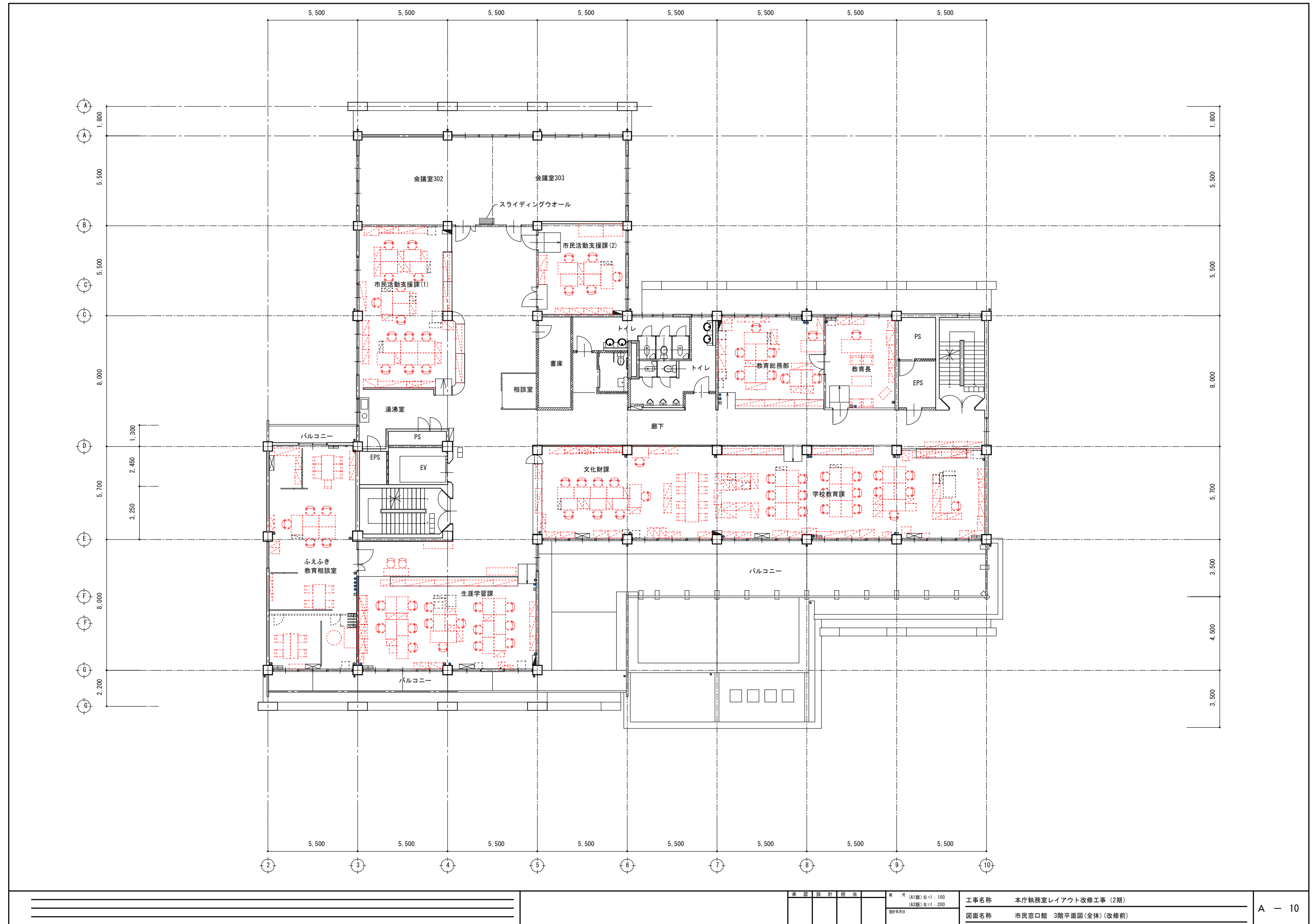
【既存家具 ※着色あり：赤色】

番号	品名	規格(mm)(参考)			数量	数量
		W	D	H		
1-1	間抽デスク	1500	700	720		1
1-26	デスク	1200	750	700		1
1-32	デスク	1800	450	700		2
1-64	デスク(一部：椅子4脚)	900	900	700		2
2-1	一人用ロッカー(ベース共)	450	450	2100		1
2-18	収納庫 引違	1500	380	720		5
2-107	置き台(キャスター)	600	450	700		1
2-144	収納庫 引出し	800	400	1120		1
2-147	収納庫 引出し	550	650	520		1
4-5	キャビネット	400	700	700		2
8-1	椅子(部長、課長)	600	585	800		3
8-2	椅子	600	585	800		27
	パナソニックH1300	1600	30	1300		2

【凡例】

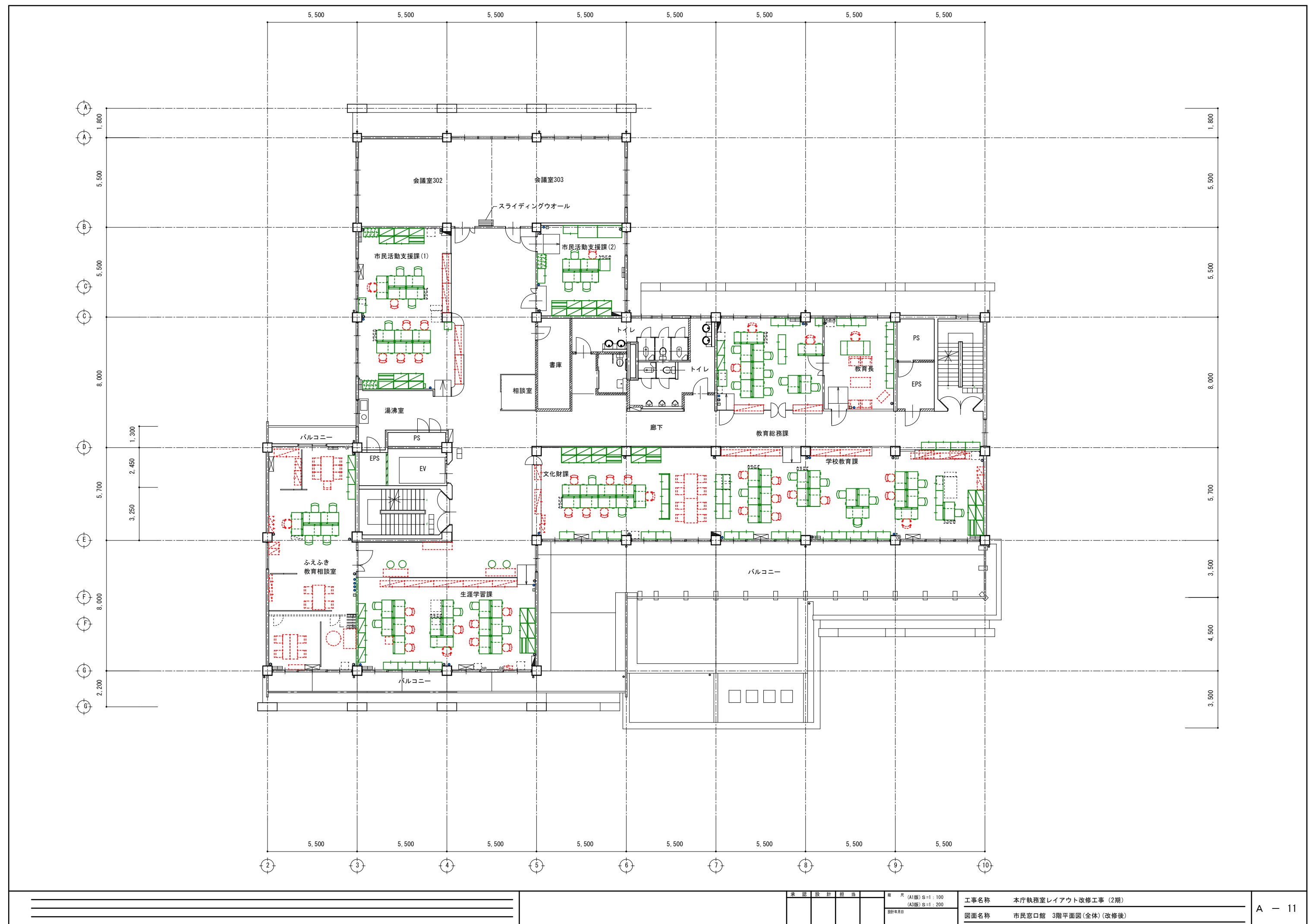
番号	品名	規格(mm)			数量
		W	D	H	
LAN	HUBボックス(移設後)	200	650	700	(既存)
	複合プリンタ	1300	750	1300	(既存)
	複合プリンタ(2)	600	700	1100	(既存)
	モノクロプリンタ	490	390	380	(既存)
	プリンタ	420	493	450	(既存)
	プリンタ(2)	380	400	250	(既存)
●OP	排煙ホースFL+1250				(既存)
●	スイッチ				(既存)
○	コンセント×2				(既存)
□	空調リモコン				(既存)
■	分電盤				(既存)
■	耐震補強壁・鉄骨ラベを示す。				(既存)
■	耐震補強壁・RC壁を示す。				(既存)
■	壁掛けロスナイ	620	185	285	(既存)
■	床置きロスナイ	900	290	850	(既存)

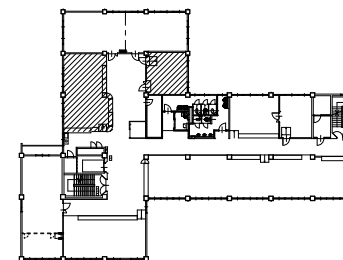
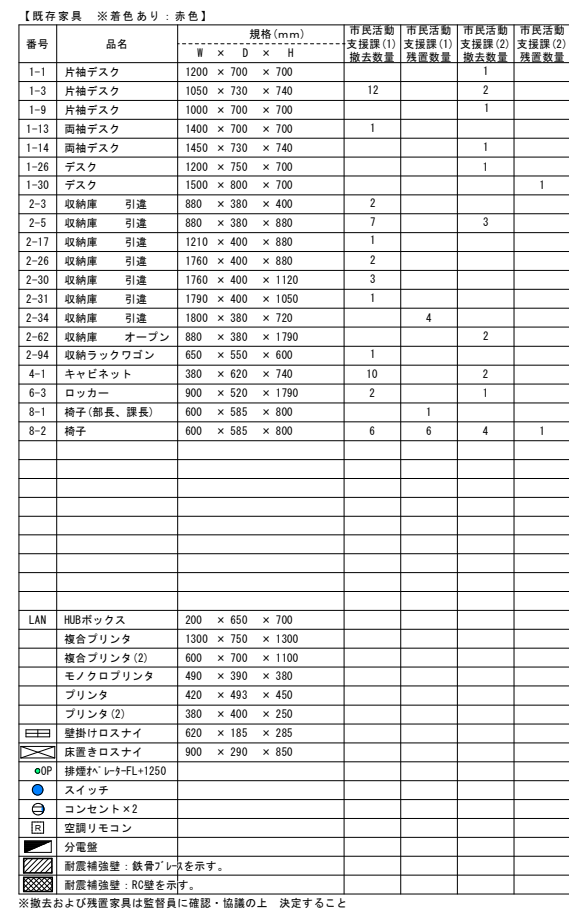


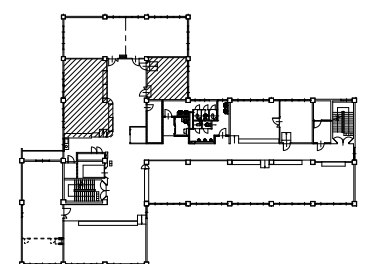


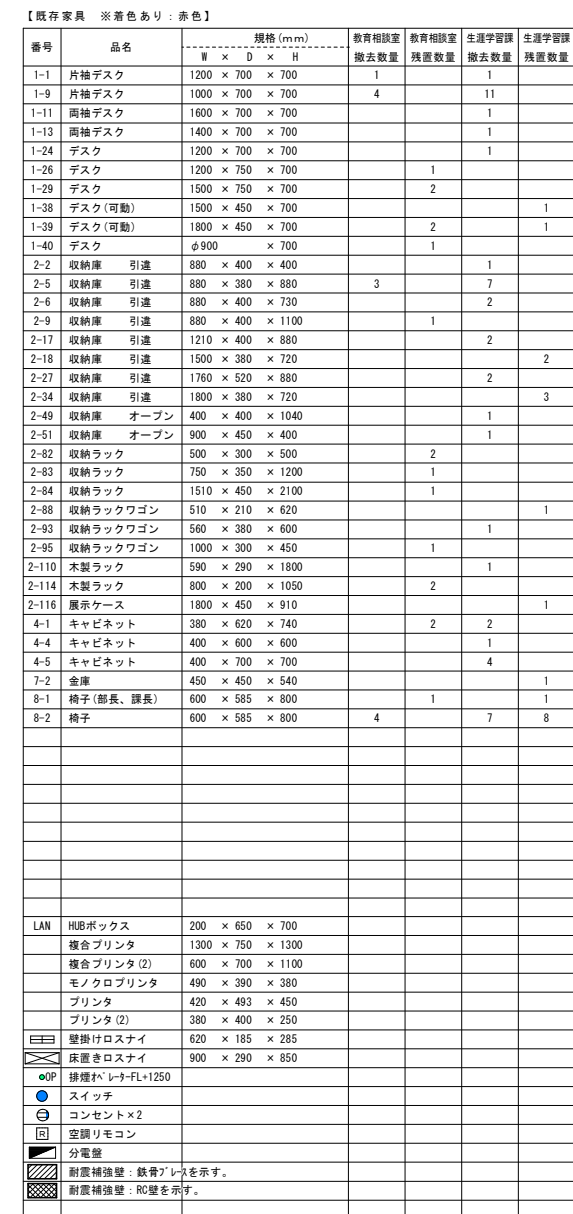
承認	設計	担当
設計年月日		

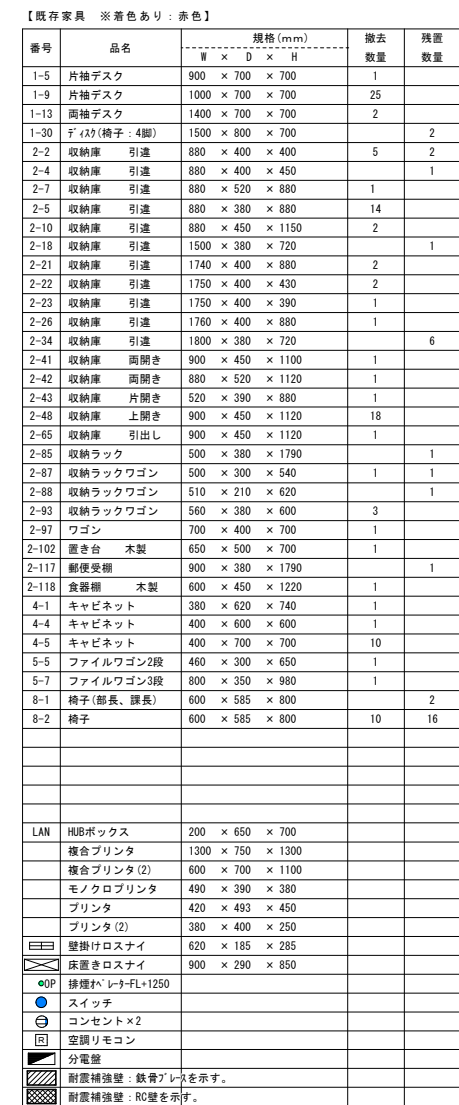
工事名称	本庁執務室レイアウト改修工事（2期）
図面名称	市民窓口館 3階平面図（全体）（改修前）



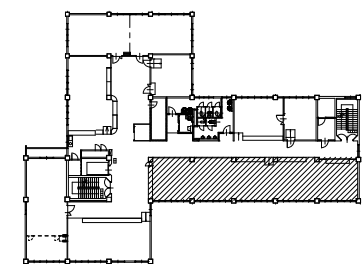




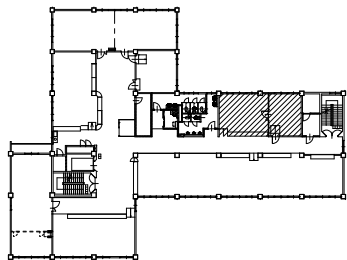




※撤去および残置家具は監督員に確認・協議の上 決定すること



※撤去および残置家具は監督員に確認・協議の上 決定すること



【工事概要】

- ① 床、柱など養生を行う。
- ② 既存家具を撤去処分
一部既存家具は、一時保管場所へ移動の上 指定の場所へ設置
- ③ 既存機具等は、一時保管場所へ移動の上 指定の場所へ設置
- ④ OAフロア内の電気配線改修工事を行う。
※既設リモコン・スイッチ・コンセントは新規家具設置により干渉する場合は移設・新設
⑤ タイルカーペットの張替工事（東リ GA1046同等品）
- ⑥ カウンター改修
既存パイカウンターの一部撤去の上 移設（廊下側至235mm足）
中央部を撤去し、開口部側向（新規環境・新規工場の設置）上 開口部に新規アクリル戸設置
- ⑦ カウンター撤去に伴いOAフロアパネルを増設の上 開口部に新規ステンレス板設置

- 【別途工事】

- ① 家具レイアウト変更による電話工事
- ② 家具レイアウト変更によるLANハブ移設・LAN配線工事
- ③ コピー機・プリンター移設・配線工事
- ④ 既存ファイル類等の段ボール詰、パソコン類の一時保管・再取り付け
- ⑤ 新規机員の設置工事
- ⑥ 壁、床コンセントから引き出された延長コード、タップの再取り付け

【新規家具 ※着色あり：緑色】（別途工事）

番号	品名	規格(mm)		教育総時間 数量	教育量 数量	参考(同等品)
		幅 W	奥行 D			
高1805	両袖デスク	1800	850 × 720		1	㊦3 MG-S35D1805F1UNN
高157	両袖デスク アンダーパネル	1500	700 × 720 W1500用	1		㊦3 SD-1SN157CASPANN3 ㊦3 SDP-1SU155AW
高147	両袖デスク アンダーパネル	1400	700 × 720 W1400用	1		㊦3 SD-1SN147CASPANN3 ㊦3 SDP-1SU145AW
片117	片袖デスク	1100	700 × 720	8		㊦3 SD-1SN117LCASPANN3
平106	スタンダードテーブル 引出付	1000	600 × 720	1		㊦3 SD-1SN106CLSPANN
椅子	椅子(肘なし)	600	585 × 800	6		㊦3 CR-G21874HS6E-W
3引戸 (木目)	収納3枚引込戸 下置き シングルベース	900	450 × 1050 900 × 438 × 60		6	㊦3 BWU-HD359E6AEP2 ㊦3 BWUB-S9E6A
	収納天板	900	450 × 20			㊦3 BWUT-W9PWN2N
3引戸	収納3枚引込戸 下置き シングルベース	900	450 × 1050 900 × 438 × 60	4		㊦3 BWU-HD359S9AWN ㊦3 BWUB-S9S9AW
	収納天板	900	450 × 20			㊦3 BWUT-W9PANNN
3引戸	収納3枚引込戸 上置き	900	450 × 1050	2		㊦3 BWU-HD359S9AWN
3引戸	収納3枚引込戸 下置き シングルベース	900	450 × 1050 900 × 438 × 60			㊦3 BWU-HD359S9AWN ㊦3 BWUB-S9S9AW
1人用㊦カ (木目)	ロッカー シングルベース	450	450 × 2100 450 × 438 × 60		1	㊦3 BWU-R85E6ADP2 ㊦3 BWUB-S5E6A
1人用㊦カ	ロッカー シングルベース	450	450 × 2100 450 × 438 × 60	1		㊦3 BWU-R85S9ANN ㊦3 BWUB-S5S9AW
脇	脇デスク	400	700 × 720	1		㊦3 SD-1SN147CASPANNN

【カウンター改修】（本工事）

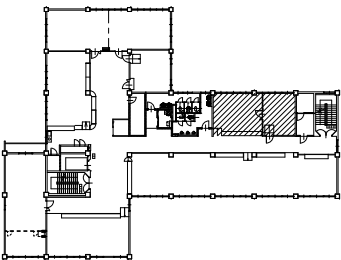
番号	品名	規格(mm)		教育総務課	教育長	参考(同等品)
		W	D × H	数量	数量	
バカッター (既存)	エンドパネルハイ 左	40	× 720 × 960	1		イ-キ NSA-069LB-W9SD
	エンドパネルハイ 右	40	× 720 × 960	1		イ-キ NSA-069RB-W9SD
	アクリルハイ用	450	× 30 × 950	2		イ-キ NSA-9Y-W9SD

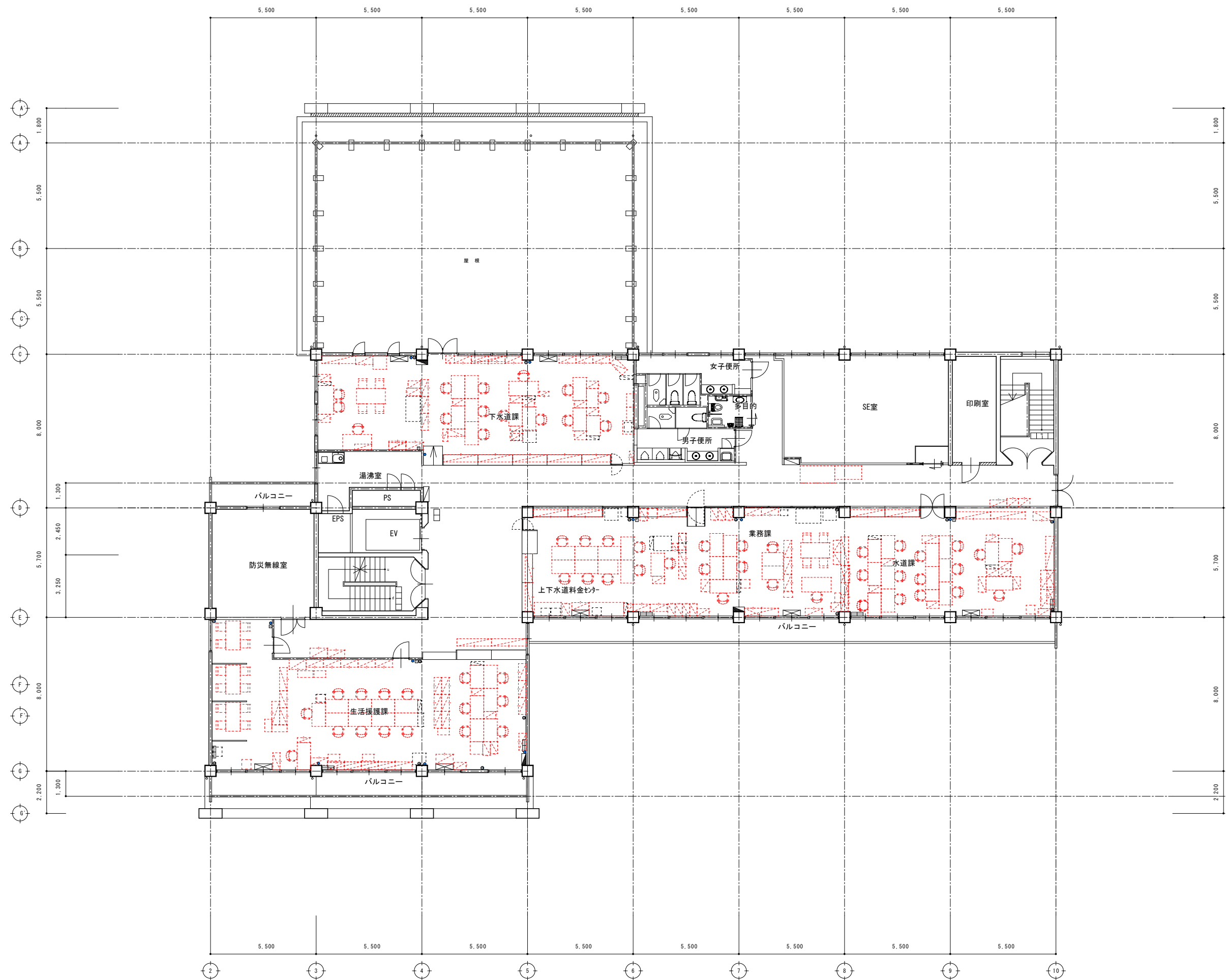
【既存家具 ※着色あり：赤色】

番 号	品 名	規格(mm) (参考)	教育総務課 数量	教育長 数量
		W × D × H		
1-59	応接テーブル(ソファー)	1200 × 600 × 380		1
2-34	収納庫 引込	1800 × 380 × 720	2	
2-109	TV台	700 × 380 × 480		1
8-1	椅子(部長、課長)	600 × 585 × 800	2	1
8-2	椅子	600 × 585 × 800	2	

【 凡 例 】

番号	品名	規格(mm)		数量
		■	□ × ■	
LAN	機殻ボックス (移後使)	200 × 650 × 700	(既存)	
	複合プリンタ	1300 × 750 × 1300	(既存)	
	複合プリンタ (2)	600 × 700 × 1100	(既存)	
	モノクロプリンタ	490 × 390 × 380	(既存)	
	プリンタ	420 × 493 × 450	(既存)	
	プリンタ (2)	380 × 400 × 250	(既存)	
○GP	排煙機「レート」H1250		(既存)	
	スイッチ		(既存)	
	コンセント×2		(既存)	
	空調リモコン		(既存)	
	分電盤		(既存)	
	耐震補強壁：鉄骨「グレー」を示す。		(既存)	
	耐震補強壁：RC壁を示す。		(既存)	
	壁掛けロケタイ	620 × 185 × 285	(既存)	
	床置きロケタイ	900 × 290 × 850	(既存)	

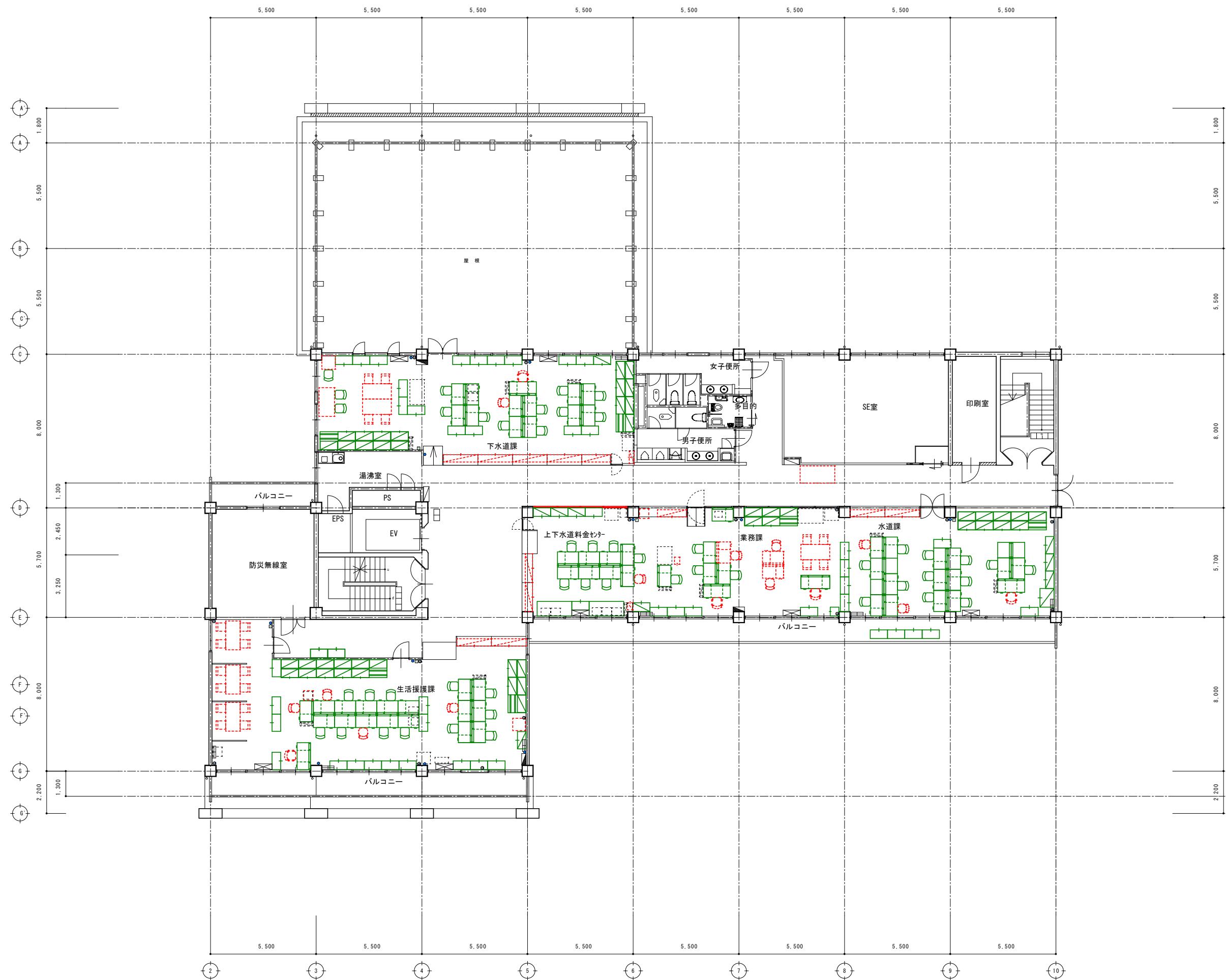




承認	設計	担当

縮尺	(A1版) S=1:100 (A3版) S=1:200
設計年月日	

工事名称	本庁執務室レイアウト改修工事(2期)
図面名称	市民窓口館 4階平面図(全体)(改修前)



承認	設計	担当	備考
			単位 (A1版) S=1:100 (A3版) S=1:200 設計年月日

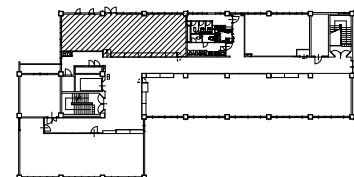
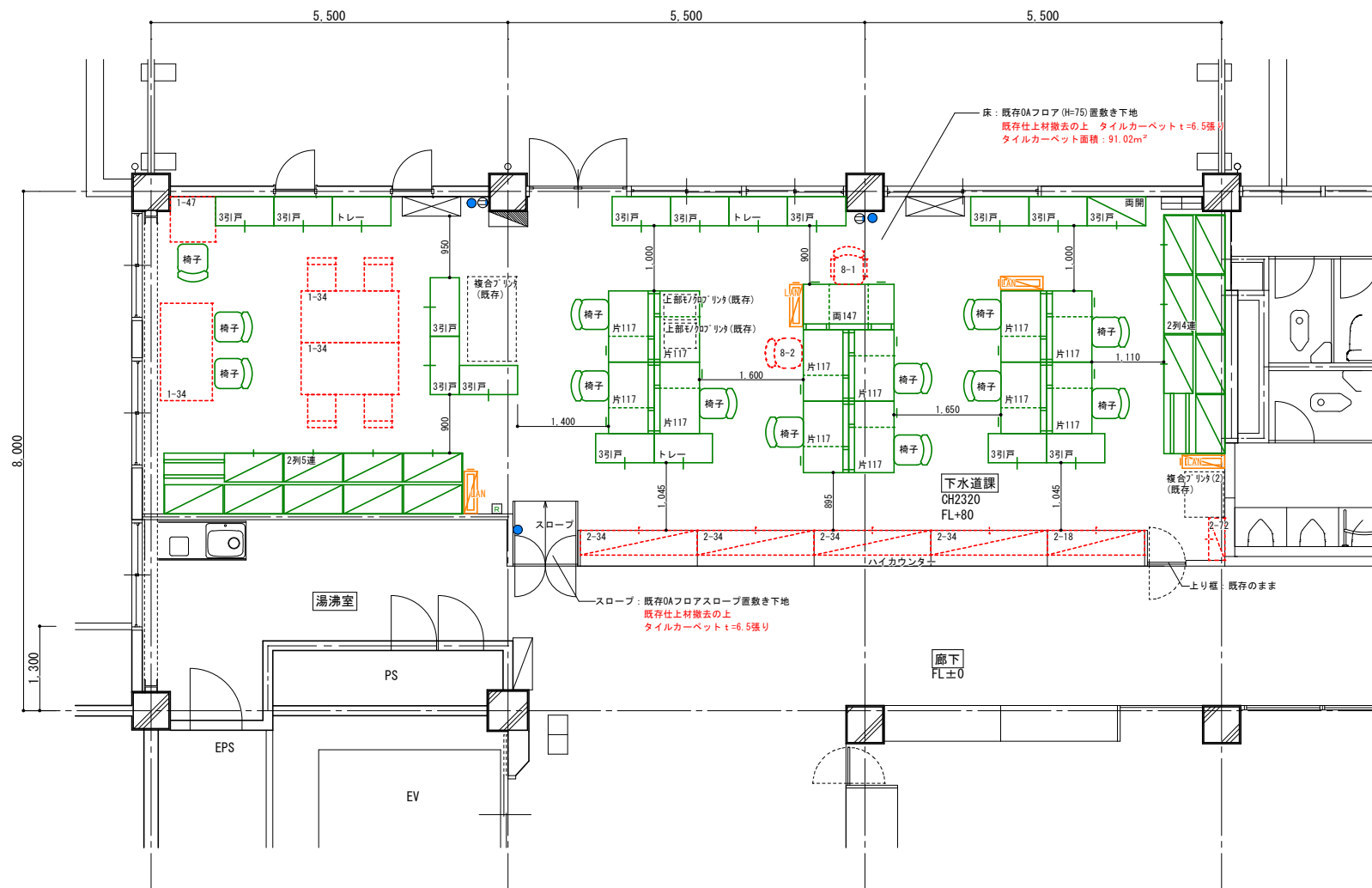
工事名称 本庁執務室レイアウト改修工事 (2期)
図面名称 市民窓口館 4階平面図 (全体) (改修後)

[illegible]

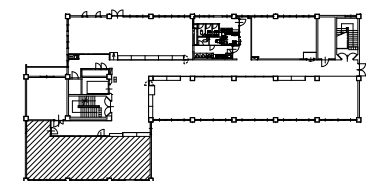
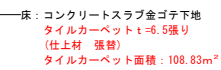
①	家具レイアウト変更による電話工事
②	家具レイアウト変更によるLANハブ移設・LAN配線工事
③	コピー機・プリンター移設・配線工事
④	既存ファイル類等の段ボール詰、パソコン類の一時保管・再取り付け
⑤	新規家具の設置工事
⑥	壁、床コンセントから引き出された延長コード、タップの再取り付け

[illegible][illegible]

番号	品名	規格(mm)			数量
		■	□	△	
LAN	HUBボックス(移設後)	200	× 650	× 700	(既存)
	複合プリンタ	1300	× 750	× 1300	(既存)
	複合プリンタ(2)	600	× 700	× 1100	(既存)
	モノクロプリンタ	490	× 390	× 380	(既存)
	プリンタ	420	× 493	× 450	(既存)
	プリンタ(2)	380	× 400	× 250	(既存)
EOP	排煙パイプ・FL-1250				(既存)
	スイッチ				(既存)
●	コンセント×2				(既存)
	空調リモコン×2				(既存)
□	分電盤				(既存)
	耐震補強壁：鉄骨アレーを示す。				(既存)
■	耐震補強壁：RC壁を示す。				(既存)
	壁掛けロケサイ	620	× 185	× 285	(口取)
△	床置きロケサイ	900	× 290	× 850	(既存)



※撤去および残置家具は監督員に確認・協議の上 決定すること



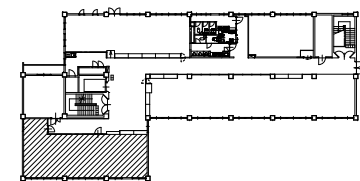
- [illegible]

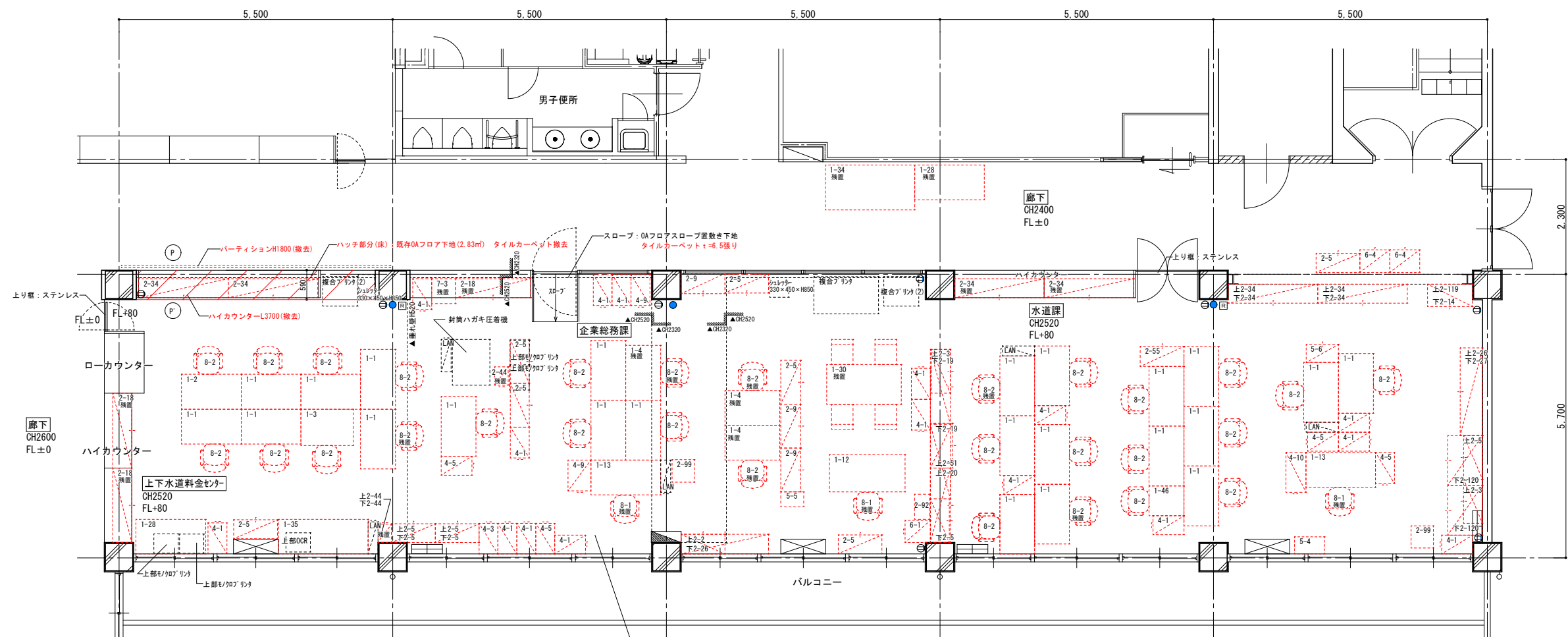
- | | |
|---|----------------------------------|
| ① | 家具レイアウト変更による電話工事 |
| ② | 家具レイアウト変更によるLANハブ移設・LAN配線工事 |
| ③ | コピー機・プリンター移設・配線工事 |
| ④ | 既存ファイル類等の段ボール詰、パソコン類の一時的保管・再取り付け |
| ⑤ | 新規家具の設置工事 |
| ⑥ | 壁、床コンセントから引き出された延長コード、タップの再取り付け |

- | 番号 | 品名 | 規格(mm) | | | 数量 | 参考(同等品) |
|------|---|--------|-----|------|----|--|
| | | W | D | H | | |
| 147 | 両袖デスク
アンダーパネル | 1400 | 700 | 720 | 1 | ① SD-1SN147CAASPWN3
② SDP-1SU14SAW |
| 117 | 片袖デスク | 1100 | 700 | 720 | 17 | ① SD-1SN117LCAASPWN3 |
| 391 | 椅子
椅子(肘なし)
収納3枚引込戸 下置き
シングルベース
収納天板 | 600 | 585 | 800 | 12 | ① CR-621BF4H5GN65-W
② BWU-HD35SSASNN
③ BWUT-WOPANN |
| L3 | 収納3段 下置き
シングルベース
収納天板 | 900 | 450 | 1050 | 1 | ① BWU-L3A55ASANN
② BWUB-S5ASW
③ BWUT-WOPANN |
| トレ | 収納A4浅深コンビトレイ
シングルベース
収納天板 | 900 | 450 | 1050 | 1 | ① BWU-PA355ASANN
② BWUB-S5ASW
③ BWUT-WOPANN |
| 両開 | 収納 両開き扉 上置き | 900 | 450 | 1050 | 1 | ① BWU-SU659SAWN |
| 391 | 収納3枚引込戸 下置き
シングルベース
収納天板 | 900 | 450 | 1050 | 1 | ① BWU-HD35SSASNN
② BWUB-S5ASW |
| 2列3通 | スライド収納 2列3通 両開き扉 | 2760 | 940 | 2265 | 1 | ① SMU-S89SANN3+1・CS89SANN3+1 |
| 2列6通 | スライド収納 2列6通 両開き扉 | 5520 | 940 | 2265 | 1 | ① SMU-S89SANN3+1・CS89SANN3+1 |

- | 番号 | 品名 | 規格(mm) (参考) | 数量 |
|------|-----------|-----------------------|----|
| | | W × D × H | |
| 1-29 | デスク(椅子4脚) | 1500 × 750 × 700 | 3 |
| 1-45 | PC用デスク | 650 × 650 × 700(1150) | 1 |
| 2-34 | 収納庫 引違 | 1800 × 380 × 720 | 2 |
| 2-98 | 置き台 | 450 × 450 × 700 | 1 |
| 8-1 | 椅子(部長、課長) | 600 × 585 × 800 | 1 |
| 8-2 | 椅子 | 600 × 585 × 800 | 4 |

- | 番号 | 品名 | 規格 (mm) | | | 数量 |
|-----|------------------|---------|-------|--------|------|
| | | W | D | H | |
| LAN | HUBボックス (特設機) | 200 | × 650 | × 700 | (既存) |
| | 複合プリンタ | 1300 | × 750 | × 1300 | (既存) |
| | 複合プリンタ (2) | 600 | × 700 | × 1100 | (既存) |
| | モノクロプリンタ | 490 | × 390 | × 380 | (既存) |
| | プリンタ | 420 | × 493 | × 450 | (既存) |
| | プリンタ (2) | 380 | × 400 | × 250 | (既存) |
| oP | 排紙レールFL+1250 | | | | (既存) |
| ● | スイッチ | | | | (既存) |
| ⊖ | コンセント×2 | | | | (既存) |
| ⏻ | 空調リモコン | | | | (既存) |
| ■ | 分電盤 | | | | (既存) |
| ▨ | 耐震補強壁・鉄骨ブレースを示す。 | | | | (既存) |
| ▨ | 耐震補強柱・RC壁を示す。 | | | | (既存) |
| ≡ | 壁掛けロケスタ | 620 | × 185 | × 285 | (既存) |
| ≡ | 床置きロケスタ | 900 | × 290 | × 850 | (既存) |

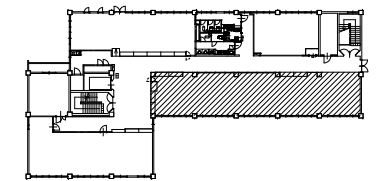




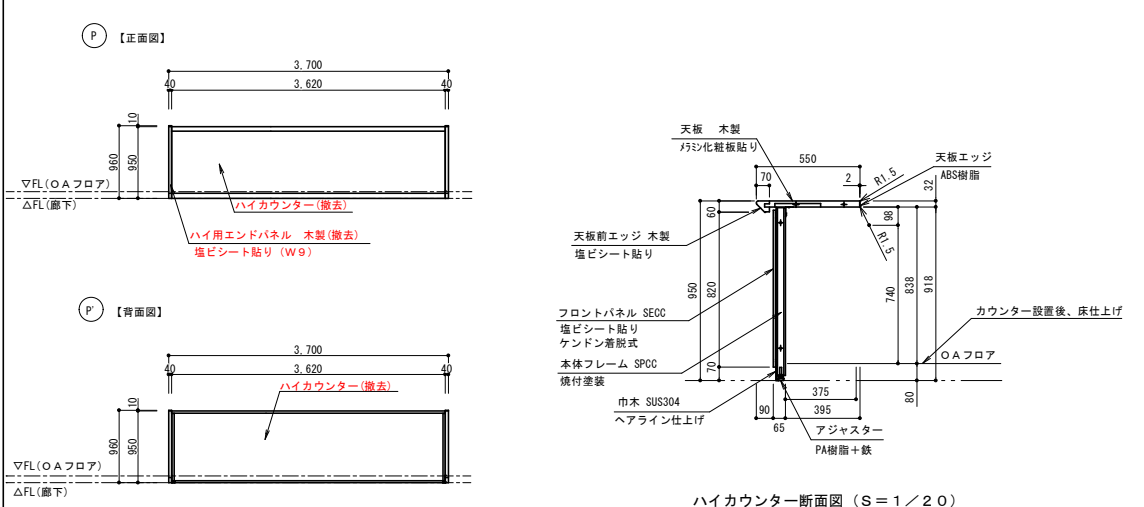
【既存家具 ※着色あり：赤色】

番号	品名	規格(mm) W × D × H	撤去 数量	残置 数量
1-1	片袖デスク	1200 × 700 × 700	23	
1-2	片袖デスク	1200 × 700 × 720	1	
1-3	片袖デスク	1050 × 730 × 740	1	
1-4	片袖デスク	1100 × 700 × 720		3
1-12	両袖デスク	1520 × 750 × 740	1	
1-13	両袖デスク	1400 × 700 × 700	2	
1-28	デスク	1400 × 700 × 700	1	1
1-30	デスク(椅子4脚)	1500 × 800 × 700		1
1-34	デスク	1800 × 900 × 700		1
1-35	デスク	1800 × 700 × 700	1	
1-46	PC用デスク	600 × 700 × 650(1240)	1	
2-2	収納庫 引違	880 × 400 × 400	1	
2-3	収納庫 引違	880 × 380 × 400	2	
2-5	収納庫 引違	880 × 380 × 880	13	
2-9	収納庫 引違	880 × 400 × 1100	3	
2-14	収納庫 引違	900 × 450 × 1170	1	
2-18	収納庫 引違	1500 × 380 × 720		3
2-19	収納庫 引違	1500 × 400 × 880	2	
2-20	収納庫 引違	1500 × 400 × 400	1	
2-26	収納庫 引違	1760 × 400 × 880	2	
2-27	収納庫 引違	1760 × 520 × 880	1	
2-34	収納庫 引違	1800 × 380 × 720	6	2
2-44	収納庫 片開き	270 × 370 × 880		3
2-51	収納庫 オープン	900 × 450 × 400	1	
2-55	収納庫 オープン	900 × 400 × 1100	1	
2-92	収納ラックワゴン	500 × 300 × 600	1	
2-99	置き台	450 × 450 × 700	2	
2-119	収納庫 オープン	880 × 400 × 880	1	
2-120	収納庫 引出し	1000 × 700 × 720	2	
4-1	キャビネット	380 × 620 × 740	16	
4-3	キャビネット	390 × 620 × 1010	1	
4-5	キャビネット	400 × 700 × 700	4	
4-9	キャビネット	460 × 620 × 740	2	
4-10	キャビネット	400 × 800 × 700	1	
5-4	ファイルワゴン2段	600 × 350 × 970	1	
5-5	ファイルワゴン2段	460 × 300 × 650	1	
5-6	ファイルワゴン3段	650 × 360 × 1260	1	
6-1	ロッカー	450 × 510 × 1790	1	
6-4	ロッカー	600 × 450 × 1800	2	
7-3	金庫	480 × 500 × 700		1
8-1	椅子(部長、課長)	600 × 585 × 800		3
8-2	椅子	600 × 585 × 800	23	6
	パーティションH1800	5400 × 35 × 1800	1	

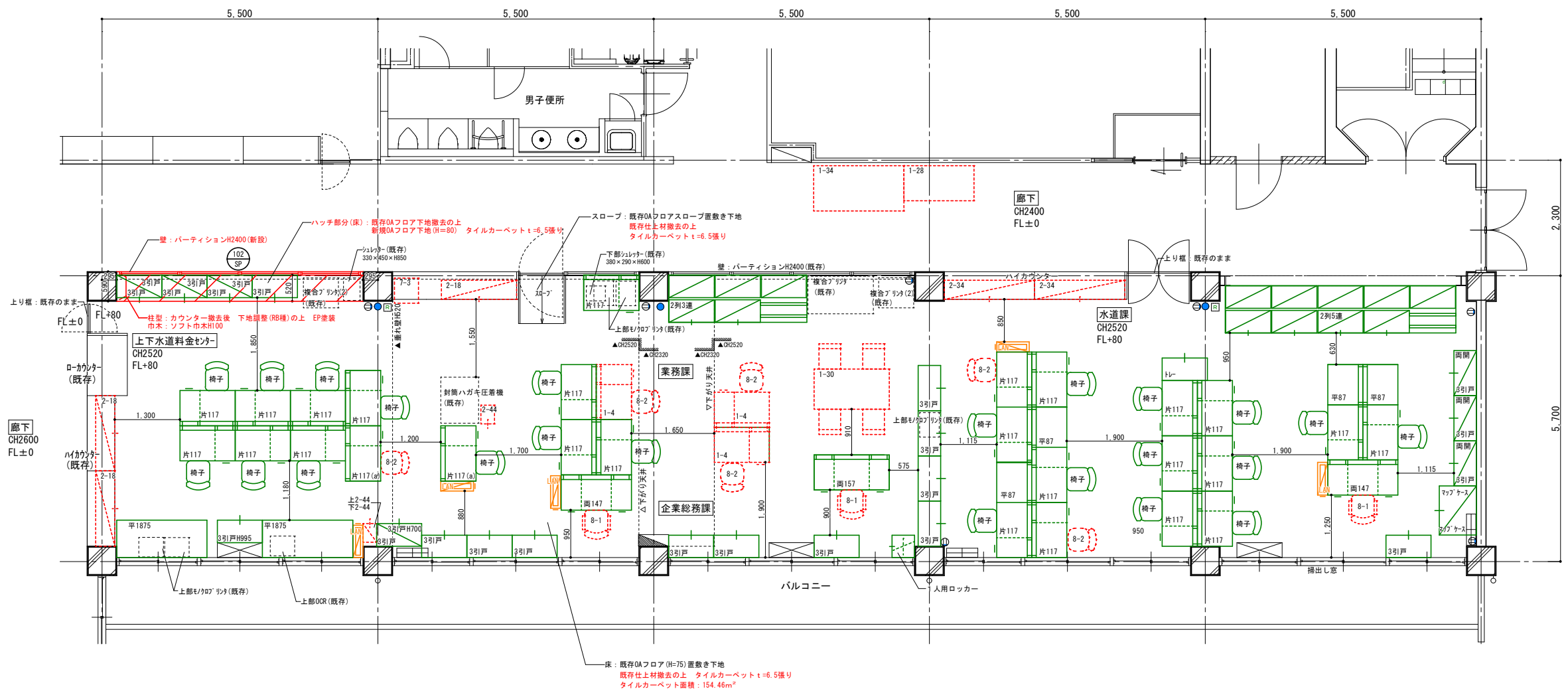
※撤去および残置家具は監督員に確認・協議の上 決定すること



ハイカウンター詳細図 (S=1/20、50)



ハイカウンター断面図 (S=1/20)

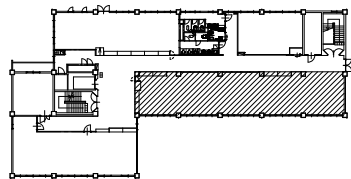


- 【工事概要】
- ① 床、柱など養生を行う。
 - ② 既存家具を撤去処分
一部既存家具は、一時保管場所へ移動の上 指定の場所へ設置
 - ③ 既存備品類等は、一時保管場所へ移動の上 指定の場所へ設置
 - ④ OAフロア内の電気配線改修工事を行う。
※既設リモコン・スイッチ・コンセントは新規家具設置により干渉する場合は移設・新設
 - ⑤ タイルカーペットの張替工事(東リ GA1046同等品)
 - ⑥ カウンターは既存のまま(一部撤去)
カウンター撤去部分: 柱型・下地調整(R8種)の上 EP塗装、巾木: ソフト巾木H=100
 - ⑦ 既存スチールパーティションH1800撤去の上 新規SP-102を設置
- 【別途工事】
- ① 家具レイアウト変更による電話工事
 - ② 家具レイアウト変更によるLANハブ移設・LAN配線工事
 - ③ コピー機・プリンター移設・配線工事
 - ④ 既存ファイル類等の段ボール詰、パソコン類の一時保管・再取り付け
 - ⑤ 新規家具の設置工事
 - ⑥ 壁、床コンセントから引き出された延長コード、タップの再取り付け

【新規家具 ※着色あり: 緑色】(別途工事)				
番号	品名	規格(mm)	数量	参考(同等品)
W	D	H		
間157	両袖デスク アンダーパネル	1500 × 700 × 720 W1500用	1	※3 SD-1SN157CAASPANN3 ※3 SDP-ISU15SAW
間147	両袖デスク アンダーパネル	1400 × 700 × 720 W1400用	2	※3 SD-1SN147CAASPANN3 ※3 SDP-ISU14SAW
片117	片袖デスク	1100 × 700 × 720	25	※3 SD-1SN117LCAASPANN3
片117(a)	片袖デスク アンダーパネル	1100 × 700 × 720 W1100用	2	※3 SD-1SN117LCAASPANN3 ※3 SDP-ISU11LSAW
平87	スタンダードテーブル 引出付	800 × 700 × 720	4	※3 SD-1SN87CLSPAANN
平1875	ミーティングテーブル丸脚	1800 × 750 × 720	2	※3 MT-JTR1875SAWMT11N
椅子	椅子(肘なし)	600 × 585 × 800	23	※3 CR-G218F4HSN65-W
3引戸	収納3枚引込戸 下置き シングルベース 収納天板	900 × 450 × 1050 900 × 438 × 60 900 × 450 × 20	12	※3 BWU-HD359SAW ※3 BWUB-S9SAW ※3 BWUT-W9PAWNN
3引戸H995	収納3枚引込戸 下置き シングルベース 収納天板	900 × 450 × 915 900 × 438 × 60 900 × 450 × 20	1	※3 BWU-HD349SAW ※3 BWUB-S9SAW ※3 BWUT-W9PAWNN
トレ	収納A4浅型トレ シングルベース 収納天板	900 × 450 × 1050 900 × 438 × 60 900 × 450 × 20	1	※3 BWU-PA159SAW ※3 BWUB-S9SAW ※3 BWUT-W9PAWNN
間開	収納 間開き扉 上置き	900 × 450 × 1050	3	※3 BWU-SU95SAW
3引戸	収納3枚引込戸 下置き シングルベース	900 × 450 × 1050 900 × 438 × 60	3	※3 BWU-HD359SAW ※3 BWUB-S9SAW
3引戸	収納3枚引込戸 上置き 収納3枚引込戸 下置き シングルベース	900 × 450 × 1050 900 × 450 × 1050 900 × 438 × 60	3	※3 BWU-HJ359SAW ※3 BWU-HD359SAW ※3 BWUB-S9SAW
3引戸H700	収納3枚引込戸 上置き 収納3枚引込戸 下置き シングルベース	900 × 450 × 702 900 × 450 × 1050 900 × 438 × 60	1	※3 BWU-HJ339SAW ※3 BWU-HD359SAW ※3 BWUB-S9SAW
1人用ロッカー	ロッカー シングルベース	450 × 450 × 2100 450 × 438 × 60	1	※3 BWU-R85SAWNN ※3 BWUB-S9SAW
2列3連	スライド収納 2列3連 間開き扉	2760 × 940 × 2265	1	※3 SMU-S89SAWNN3*1・CS89SAWNN3*1
2列5連	スライド収納 2列5連 間開き扉	4600 × 940 × 2265	1	※3 SMU-S89SAWNN3*1・CS89SAWNN3*3
マップケース	マップケース (A1用)	978 × 740 × 415	2	※3 MC-A1 (SAW色仕様) ※特注
	マップケースベース (A1用)	978 × 740 × 95	1	※3 MC-B-A1 (SAW色仕様) ※特注
	マップケース蓋 (A1用)		1	※3 MC-B-F (SAW色仕様) ※特注

【既存家具 ※着色あり: 赤色】				
番号	品名	規格(mm) (参考)	数量	
W	D	H		
1-4	片袖デスク	1100 × 700 × 720	3	
1-28	デスク	1400 × 700 × 700	1	
1-30	デスク(椅子4脚)	1500 × 800 × 700	1	
1-34	デスク	1800 × 900 × 700	1	
2-18	収納庫 引込	1500 × 380 × 720	3	
2-34	収納庫 引込	1800 × 380 × 720	2	
2-44	収納庫 片開き	270 × 370 × 880	3	
7-3	金庫	480 × 500 × 700	1	
8-1	椅子(部長、課長)	600 × 585 × 800	3	
8-2	椅子	600 × 585 × 800	6	

【凡例】				
番号	品名	規格(mm)	数量	
W	D	H		
LAN	HUBボックス(移設後)	200 × 650 × 700	(既存)	
	複合プリンタ	1300 × 750 × 1300	(既存)	
	複合プリンタ(2)	600 × 700 × 1100	(既存)	
	モノクロプリンタ	490 × 390 × 380	(既存)	
	プリンタ	420 × 493 × 450	(既存)	
	プリンタ(2)	380 × 400 × 250	(既存)	
●OP	排煙ホースFL+1250		(既存)	
●	スイッチ		(既存)	
○	コンセント×2		(既存)	
□	空調リモコン		(既存)	
分電盤			(既存)	
耐震補強壁: 鉄骨プレート			(既存)	
耐震補強壁: RC壁			(既存)	
壁掛けロスナイ		620 × 185 × 285	(既存)	
床置きロスナイ		900 × 290 × 850	(既存)	

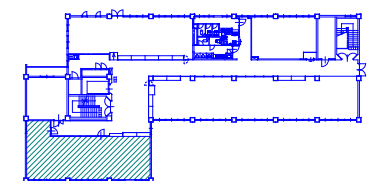
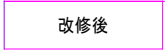


記号・場所	102 SP	上下水道料金センター	S=1:100
型 状		4,800 ▽CH2400 450 2,400 ▽FL(置き床) △FL	
種 別	スチールパーティション		
仕 上	鋼板 t=0.6 焼付塗装		
硝 子	—		
金 物	付属金物一式		
数量・見込	1ヶ所/70		
改修内容	① 既存スチールパーティションH1800撤去の上 新規SP-102を設置 ※現場寸法を測定の上 製作すること		
凡例	⊕ 既存建具を示す	⊖ 新規建具を示す	

承認	設計	担当	日 月 年
			設計年月日

工事名称	本庁執務室レイアウト改修工事(2期)
図面名称	部屋別4階平面図(市民窓口館-上下水道料金センター、企業総務課、水道課)(改修後)

改修前



承 認	設 計	担 当	縮 尺 (A1版) S=1 : 50 (A3版) S=1 : 100 設計年月日

E — 01